



NATURAL SOUND STEREO RECEIVER

# RX-E100

NATURAL SOUND COMPACT DISC PLAYER

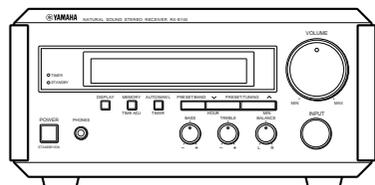
# CDX-E100



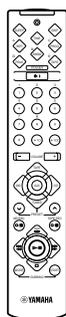
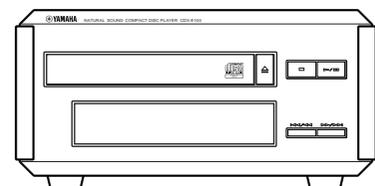
## 取扱説明書



RX-E100



CDX-E100



## もくじ

ページ

安全上のご注意 .....	2 ~ 5
おもな特長 .....	6
接続のしかた .....	7 ~ 13
各部の名称 .....	14 ~ 17
リモコンの準備 .....	18
時刻の合わせかた .....	19 ~ 20

基本操作(電源・音量・音質)....	21 ~ 22
ラジオ放送を聞くには .....	23 ~ 28
CDを聞くには .....	29 ~ 36
録音するには .....	37 ~ 41
タイマーを使うには .....	42 ~ 46

CDについて .....	47
お手入れするには .....	48
音楽著作権について .....	48
故障かな?と思ったら .....	49 ~ 50
仕様 .....	51
ヤマハホットライン	
サービスネットワーク .....	裏表紙

はじめに

操作のしかた

ご参考

このたびは、ヤマハレシーバRX-E100/CDプレーヤCDX-E100をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。(なお、CRX-E100はRX-E100とCDX-E100を組合せた名称です。)

RX-E100/CDX-E100の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管してください。

ご使用前に必ずお読みください

### 保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店名、購入日などの記入がありませんと、保証期間中でも万サービスが必要な場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

# 安全上のご注意 (安全に正しくお使いいただくために)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。この「安全上のご注意」に書かれている内容には、お客様が購入された製品に含まれないものも記載されています。

## 絵表示の例



記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。



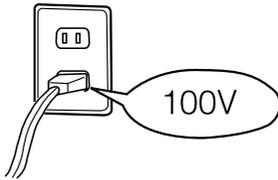
記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



## 警告

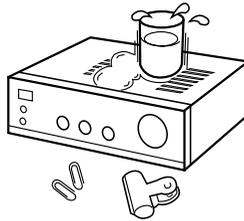
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ⊘ 電源電圧交流100V以外の電圧で使用しない



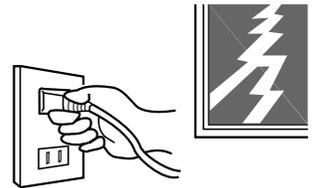
火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。

- ⊘ 水を入れたり、ぬらさない



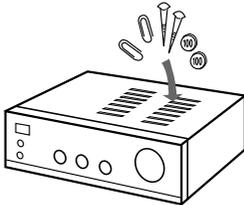
火災・感電の原因となります。本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。

- ⊘ 雷が鳴っているときは、アンテナ線や電源プラグに触れない



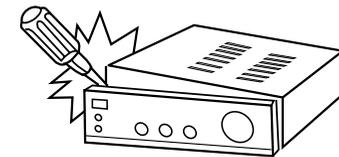
感電の原因となります。

- ⊘ 通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしない



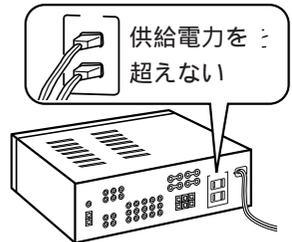
火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- ⊘ 分解・改造を絶対しない (キャビネットをはずすことも含む)



火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

- ⊘ 供給電力を超える消費電力の機器を、電源供給コンセントに接続しない



火災の原因となります。接続機器の消費電力の合計が本機背面に表示されている供給電力を超えないようにしてください。また、供給電力内であっても電源を入れたときに大電流の流れる機器(電熱器具、ヘアドライヤー、電子レンジなど)は接続しないでください。

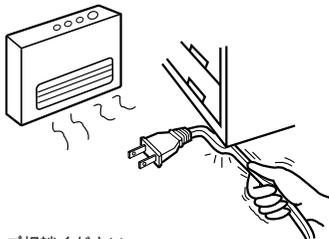


# 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

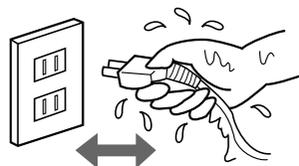
## ❌ 電源コード・プラグを破損するようなことをしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる・ねじる、引っばる、束ねる、重いものをのせるなどしない)



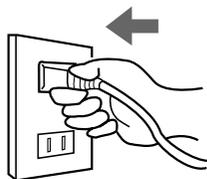
火災・感電の原因となります。  
コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

## ❌ 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない



感電の原因となります。

## ❗ 電源プラグは根元まで確実に差し込む



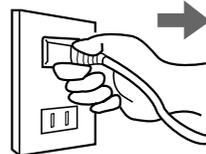
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。  
抜くときは必ずプラグを持ち、コードを引っばらないでください。  
傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

## ❗ 電源プラグのほこりなどは定期的にとる



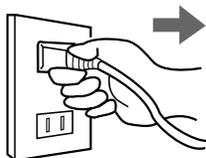
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。  
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

## ⚠️ 機器の内部に水や異物が入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く



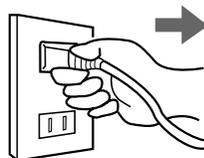
販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

## ⚠️ 煙が出たり変なおいや音がしたら、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く また、電源プラグの抜き差しがしやすいコンセントに接続する



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

## ⚠️ 落としたりして本機を損傷した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く



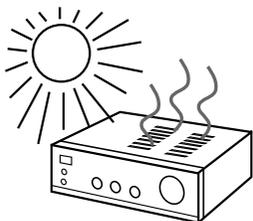
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



# 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

- ⊘ 直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に置かない



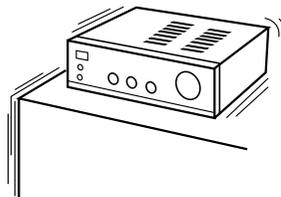
キャビネットや部品に悪い影響を与えたり、内部の温度が上昇し、火災の原因となります。

- ⊘ 湿気やほこりの多い場所に置かない



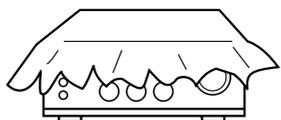
火災・感電の原因となります。

- ⊘ 振動のある場所、ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない



落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

- ⊘ 通風孔をふさがない



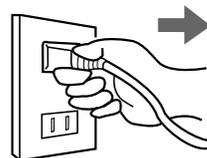
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となりますので、次の点に注意してください。テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。本機を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。

- ⚠ 放熱をよくするために他の機器との間は少し離して置く



火災・故障の原因となります。ラックなどに入れるときは、本機の天面から10cm以上、背面から10cm以上のすきまを開けてください。

- 🔌 各機器を接続する場合は電源プラグを抜き、説明に従って接続する



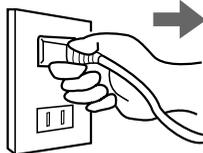
各々の機器の取扱説明書をよく読み、接続には指定のコードを使用してください。

- 🔌 移動するときは電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜き、外部の接続コードを外す



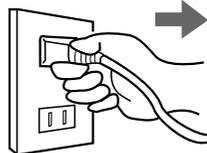
コードが傷つくと火災・感電の原因となります。

- 🔌 お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜く



感電の原因となります。

- 🔌 長期間使わないときは、必ず電源プラグを抜く



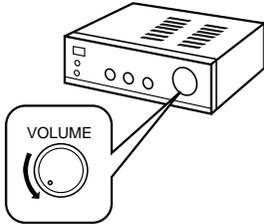
火災の原因となることがあります。



# 注意

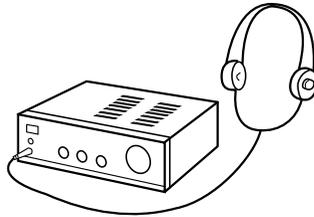
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 電源を入れる前には音量を最小にする



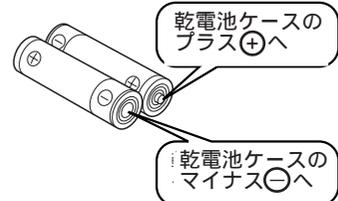
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となります。

⊘ ヘッドホンを使うときは、音量を上げすぎない



大きな音で聞くと、聴力障害などの原因となります。

⚠ 付属のリモコンに電池を挿入する場合、極性表示(プラス $\oplus$ とマイナス $\ominus$ )通りに入れる



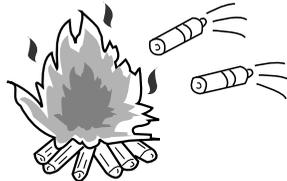
間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

⊘ 指定以外の乾電池は使用しない



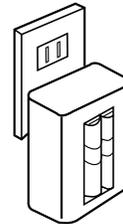
また、種類の違う乾電池、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となります。

⊘ 乾電池はショート、分解、加熱、火に入れるなどしない



発熱、液もれ、破裂などを起こし、けが、やけどの原因となります。

⊘ 乾電池は充電しない



液もれ、破損などを起こし、けが、やけどの原因となります。

⚠ アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

⚠ 1年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご相談ください。

本機の内部にほこりがたまったまま長い間掃除しないと、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。

# おもな特長

実用最大出力50W + 50Wのハイパワーアンプで迫力ある音が楽しめます

FM/AMステレオ対応

FM/AM合計40局ランダムプリセット付シンセサイザーチューナー

便利なタイマー機能 / スリープ機能

CDテキスト対応

テーププログラム機能

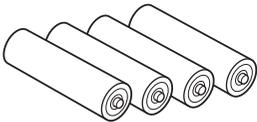
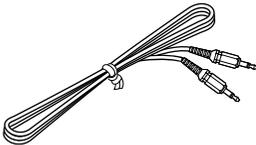
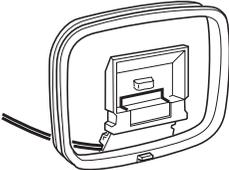
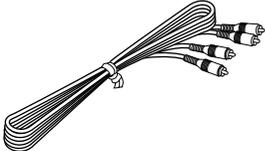
39キー多機能ワイヤレスリモコン

ヤマハのMDレコーダMDX-E100やカセットデッキKX-E100とシステム接続することによって、編集 / 録音が簡単にできます

はじめに、次のことをお確かめください。

- 1 保証書にお買い上げ店名を記入してもらいましたか。
- 2 付属品はすべてそろっていますか。

## 付属品

リモコン × 1 	単4乾電池 × 4 	FMアンテナ × 1 (長さ: 1.4m) 	コントロールコード × 1 (長さ: 1.0m) 
	AM用ループアンテナ × 1 	オーディオ接続コード × 1 (長さ: 1.0m) 	取扱説明書 × 1 保証書 × 1

# 接続のしかた

## 接続上のご注意

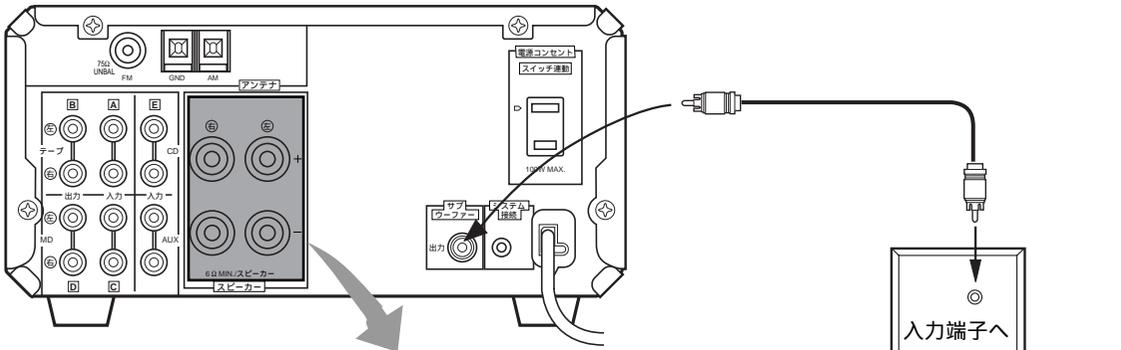
接続の前に、本機および接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。  
接続コードは最後までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まれていないと、雑音が出たり、スピーカーをいためる原因になります。

機器によっては接続方法や端子名が異なる場合があります。それぞれの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。  
接続がすべて終わったあと、電源コードをコンセントに差し込んでください。(13ページ)

## スピーカーの接続

接続する際に、右チャンネル(R) 左チャンネル(L) “+ (赤)” - (黒)を確認して正しく接続してください。極性(+/-)を間違えて接続した場合、不自然な再生音になります。  
スピーカーコードを接続する場合、ショートしないように注意してください。ショートした状態で電源を入れると、保護回路が働いて自動的に電源が切れますが、故障の原因になる恐れがあります。  
接続するスピーカーのインピーダンスは6Ω以上のものを使用してください。それ以下のインピーダンスのスピーカーを使用すると、故障する恐れがあります。

レシーバ RX-E100



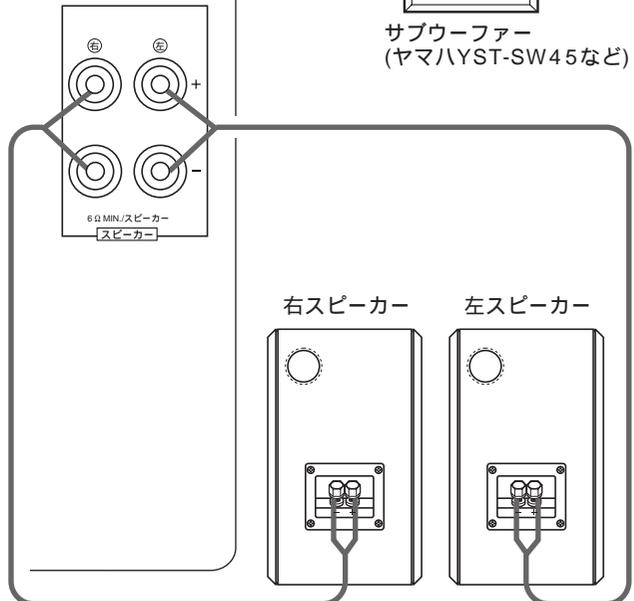
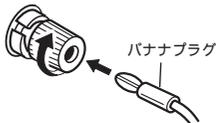
スピーカーコードの先端の絶縁部を10mm位はがし、しっかりとねじります。芯線がバラけているとショートしやすいのでご注意ください。



スピーカー端子を左にまわしてゆるめ、スピーカーコードをスピーカー端子の穴に差し込みます。スピーカー端子を右にまわしてしっかりと締めます。

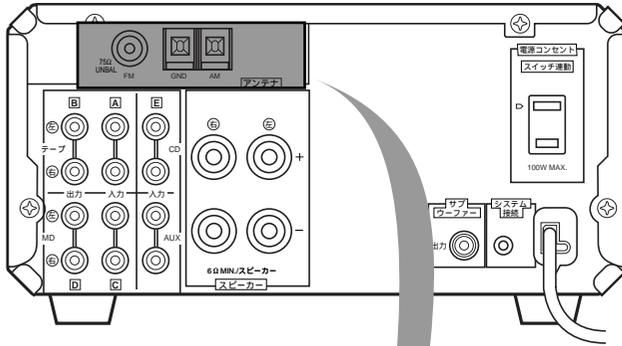


市販のパナプラグを使用する場合は、端子を強く締めてから差し込んでください。

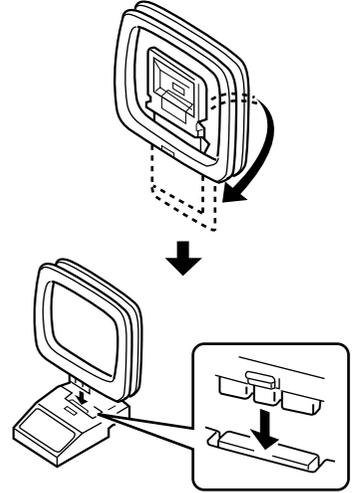


## 付属アンテナの接続

レシーバ RX-E100

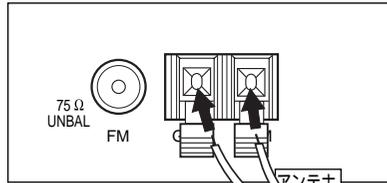
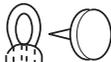


AM用ループアンテナを組み立てる

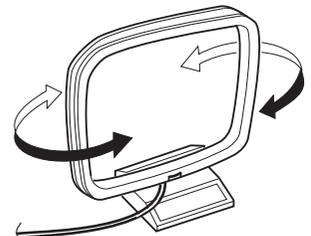


接続のしかた

**FM用アンテナ**  
放送を聞きながら、ひずみや雑音の最も少ない位置に押しピンなどで固定します。



**AM用ループアンテナ**  
放送が最もきれいに聞こえる方向にします。アンテナは本体から離してください。本体や接続コードなどに近づけると雑音が入ることがあります。



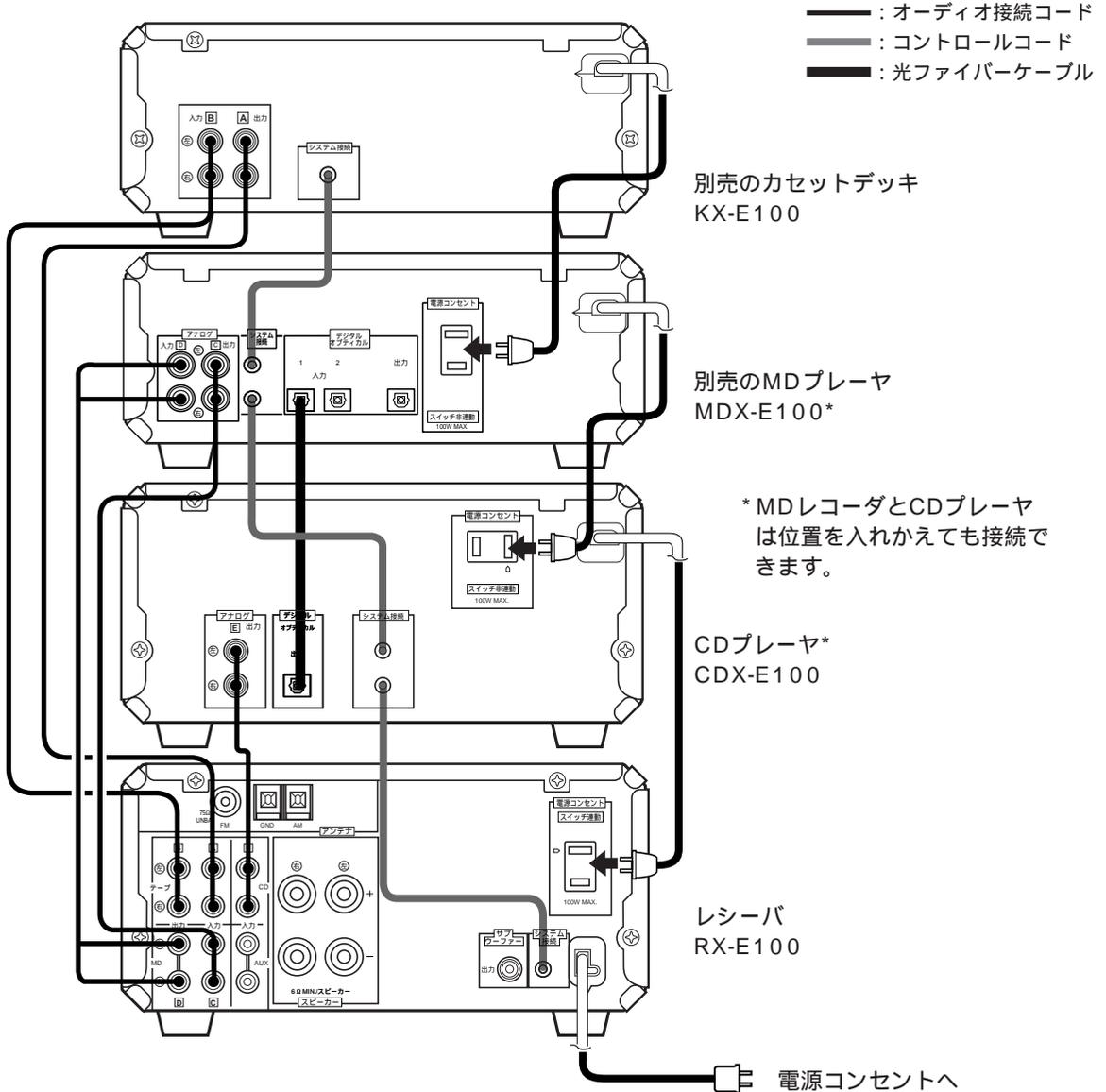


## システム接続

レシーバRX-E100、CDプレーヤCDX-E100に加え、充実したシステムコンポーネントをお楽しみいただけるよう別売のMDレコーダMDX-E100とカセットデッキKX-E100を用意しています。

本機とお手持ちのMDレコーダ、カセットデッキを接続してお使いになることもできますが、別売のMDX-E100およびKX-E100をシステム接続することで、シンクロ録音やダビングなどの便利な機能を簡単な操作でお使いいただけます。

システムコンポーネント全体図



レシーバとCDプレーヤのくわしい接続は11ページ、カセットデッキおよびMDレコーダのくわしい接続は12ページをご覧ください。

## レシーバとCDプレーヤの接続

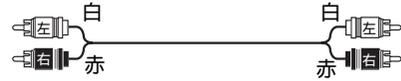
付属のオーディオ接続コードでEの端子どうしをつなぎます。システム接続端子を付属のコントロールコードでつなぎます。

コードは本書の説明どおりに接続してください。

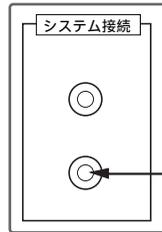
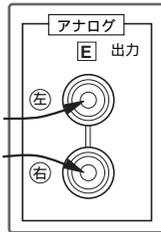
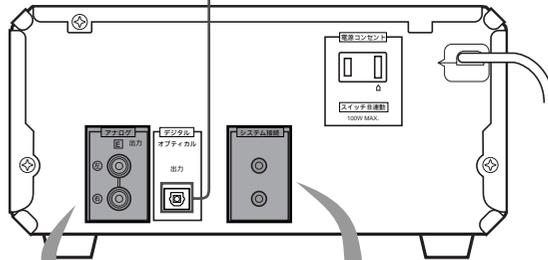
音声信号の(右)端子にはオーディオ接続コードの赤のプラグを、(左)端子には白のプラグを接続します。

別売りのMDレコーダMDX-E100を接続する場合は12ページ、お手持ちの機器を接続する場合は13ページをご覧ください。

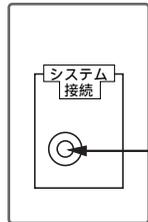
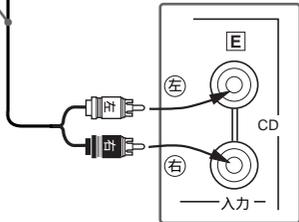
接続コードのプラグの色を次のように示します。



CDプレーヤ  
CDX-E100

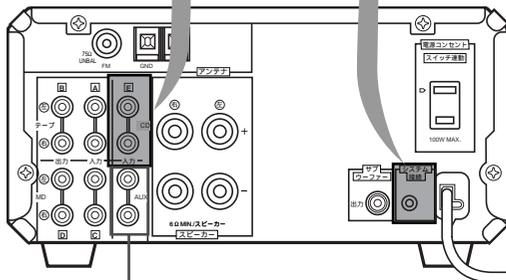


付属のオーディオ  
接続コード



付属の  
コントロール  
コード

レシーバ  
RX-E100



再生機器の出力端子を接続することができます。



## お手持ちのカセットデッキ / MDレコーダの接続

12ページの説明にしたがい、お手持ちのカセットデッキおよびMDレコーダをオーディオ接続コードでレシーバに接続します。お手持ちの機器によっては端子名が異なりますので、それぞれの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

### CDデジタル出力端子について

この端子は、本機CDのデジタル信号(光)を出力します。OPTICAL INPUT端子を持つ録音機器(MD、DAT、DCCなど)と接続して、本機CDを録音することができます。

### ご注意

CDデジタル出力端子は、他のファンクション(TUNER、TAPE、MD)の信号を出力しません。

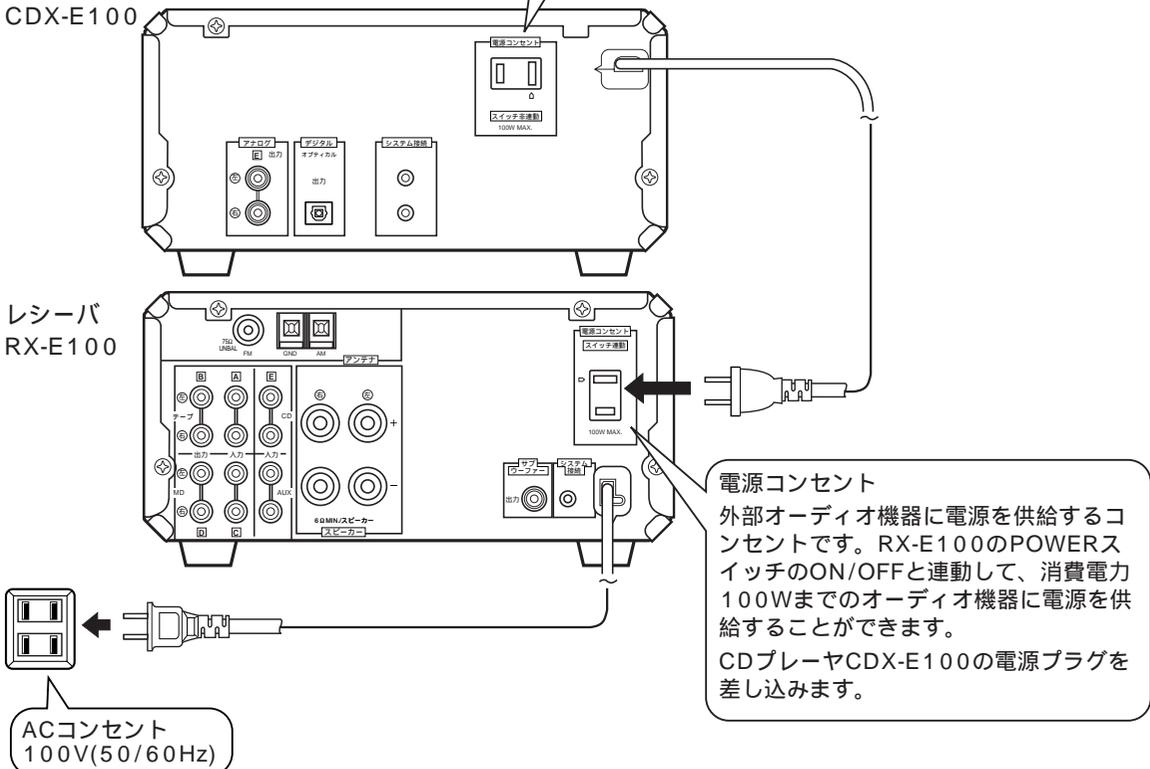
## 電源コードの接続

接続が終わったあと、CDX-E100の電源プラグをRX-E100の背面の電源コンセントに差し込み、RX-E100の電源プラグを家庭用電源コンセントに差し込んでください。

本機の電源コードには電源トランスの巻始めが極性表示(白線または文字入り)されています。プラグを差し替えて音質が変わるようでしたら、お好みの極性でお使いください。

CDプレーヤ  
CDX-E100

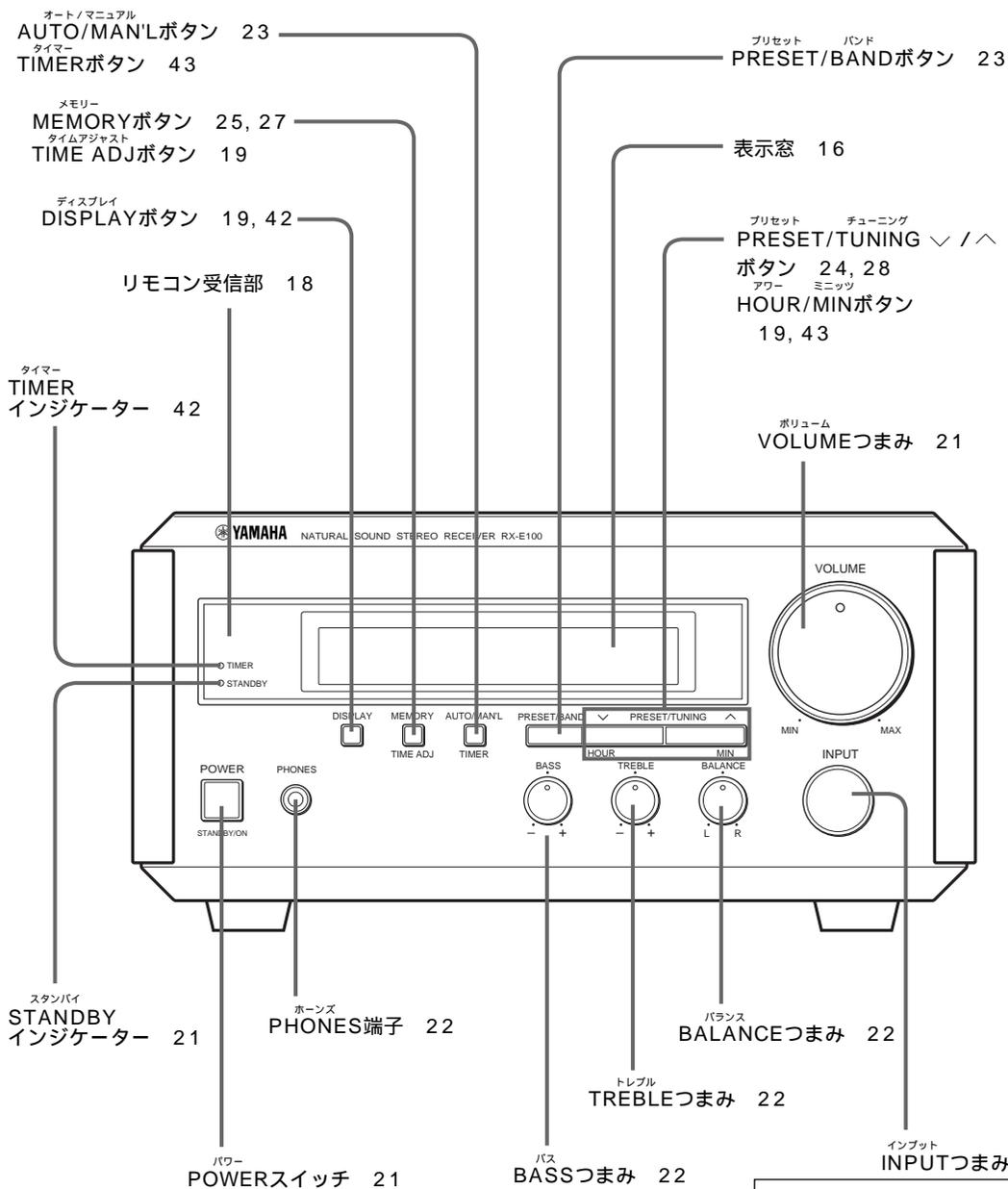
レシーバ  
RX-E100



# 各部の名称

## レシーバ RX-E100

番号は本文で説明しているおもなページです。



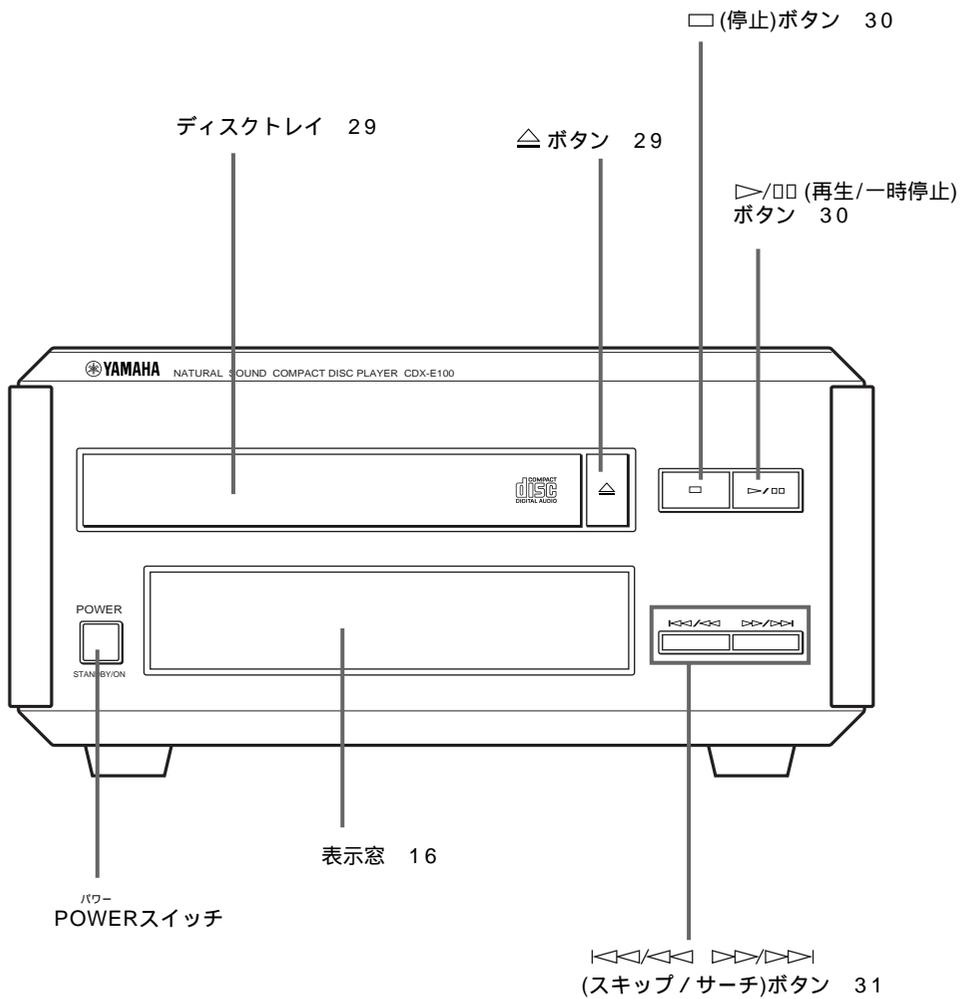
INPUTつまみを右に回すとファンクションが次のように切り換わります。

TUNER → CD → MD  
AUX ← TAPE ←

左に回すと逆になります。

# CDプレーヤ CDX-E100

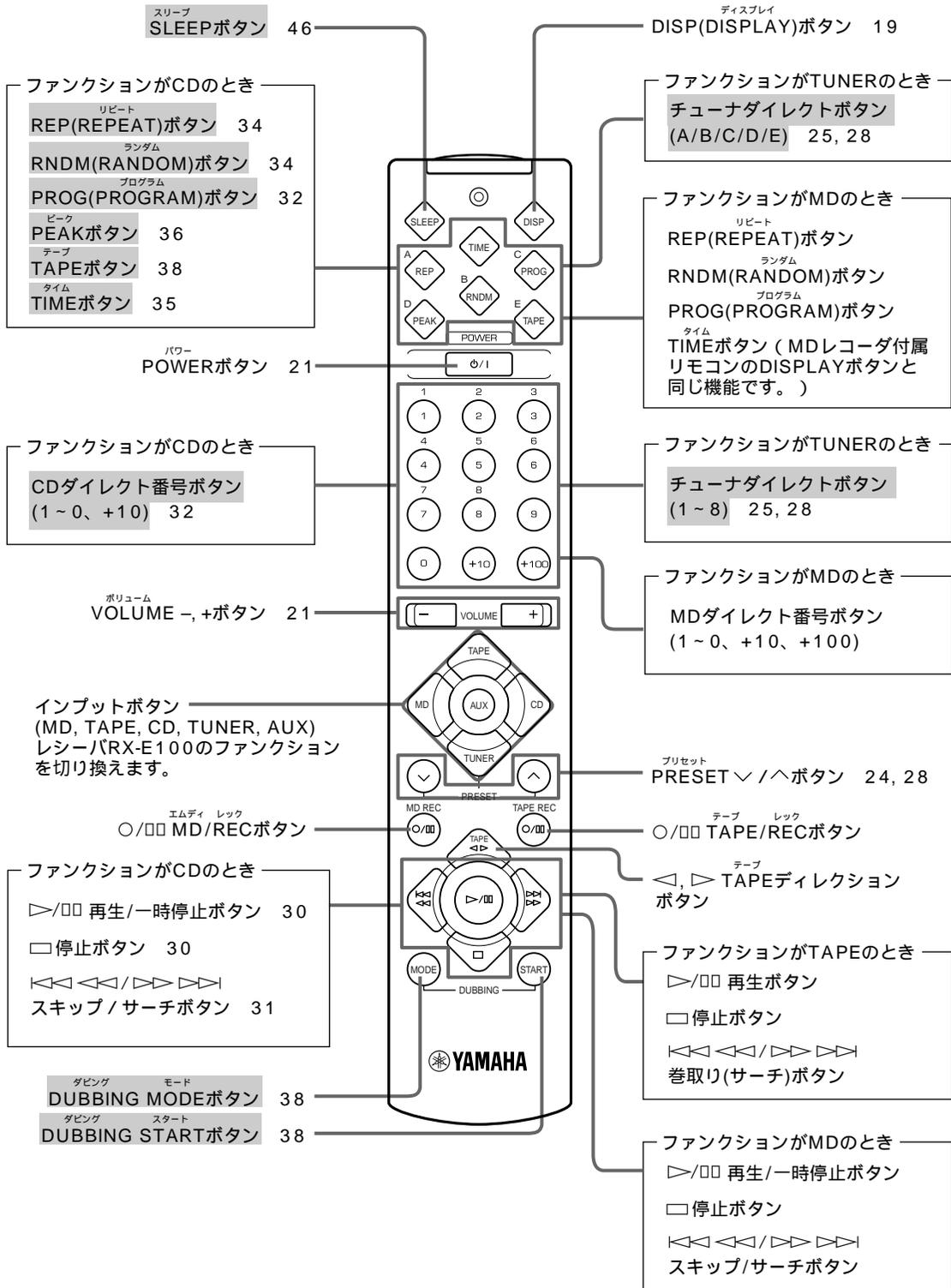
番号は本文で説明しているおもなページです。





# リモコン

番号は本文で説明しているおもなページです。  
 のボタンはリモコンでのみ操作できます。

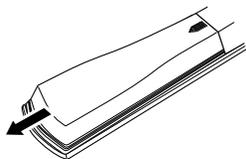


各部の名称

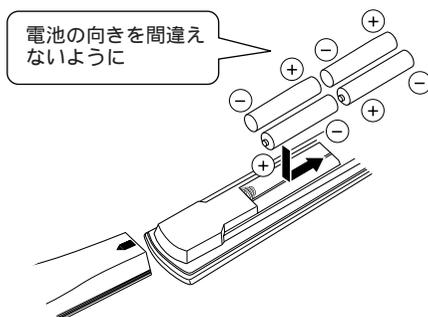
# リモコンの準備

## 乾電池の入れかた

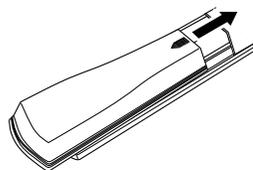
1 裏ぶたをはずす



2 単4乾電池(4個)を入れる



3 裏ぶたを戻す



## 乾電池のご注意

乾電池は誤った使い方をすると、液もれが起きたり破れつすることがありますので、次の点に特に注意してください。

乾電池のプラス $\oplus$ とマイナス $\ominus$ の向きを表示どおりに正しく入れてください。

新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。

種類のちがう乾電池を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも電圧の異なるものがあります。

乾電池が使えなくなったり、本機を長い間使わないときは、乾電池を全部取り出してください。

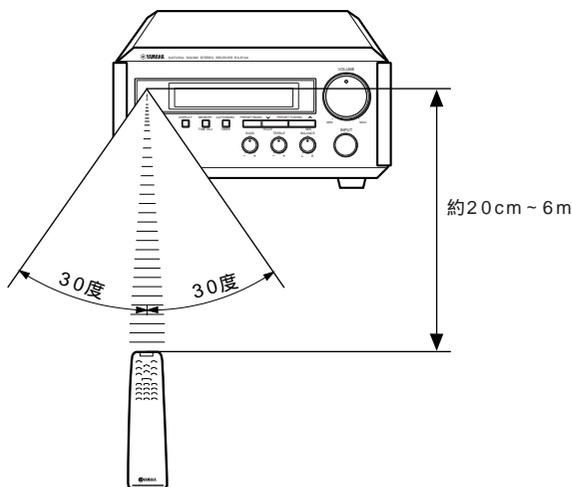
乾電池には充電式と充電式でないものがあります。

乾電池の注意表示をよく見てご使用ください。

液もれが起こったときは、ケースの中についた液をよくふき取ってください。

## リモコンの使用範囲

レシーバ RX-E100



## リモコン用乾電池の交換時期

リモコン用乾電池の寿命は通常のご使用で約1年間です。

リモコン受信部に近寄らないと動作しない場合は、乾電池を交換してください。

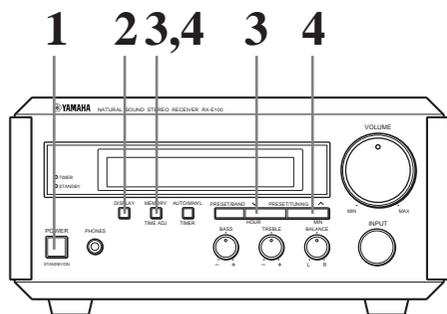
## リモコン取扱上のご注意

受信部とリモコンの間に障害物があると操作できないことがあります。

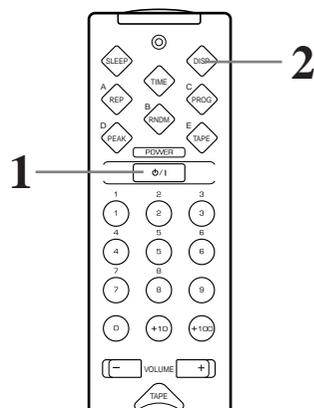
リモコンには衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり、温度の高い所には置かないでください。受信部に直射日光や強い照明（インバーター蛍光灯など）が当たっているとリモコンが働きにくくなります。

照明または製品本体の向きを変えてください。他の機器のリモコンを同時に操作すると、動作しないことがあります。

# 時刻の合わせかた

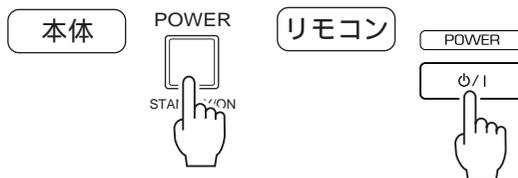


レシーバ  
RX-E100



(例) 午前10時30分に合わせるとき

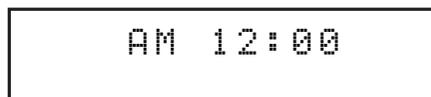
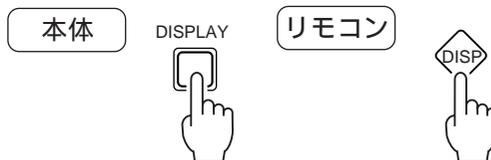
## 1 パワー POWERボタンを押して電源を入れる



## 2 ディスプレイ DISPLAYボタンを1度押す

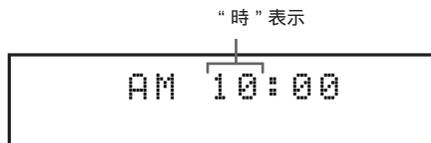
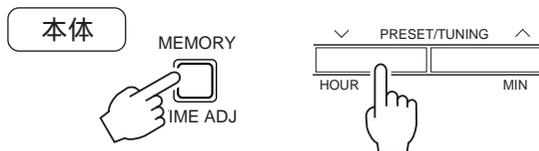
「Clock Time」が表示されたあと、時計合わせをしていないときは「Set Clock」が表示されます。(時計がセットされている時は、時計表示になります。)

約8秒間何も操作しないと、自動的に元の表示(ファンクション表示)に戻ります。そのときは、もう一度DISPLAYボタンを押してください。



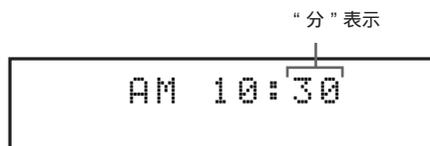
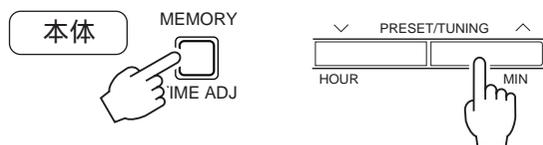
## 3 タイム アジャスト TIME ADJボタンを押したまま POWERボタンを押して“時”を合わせる

1回押すと1時間進みます。  
押し続けると、連続して進みます。希望の時刻で、HOURボタンから指をはなします。  
TIME ADJとPRESET/BANDボタンを押したままHOURボタンを押すと時間が逆送りになります。  
時計は12時間表示です。  
真夜中：AM12:00  
正午：PM12:00



## 4 タイム アジャスト TIME ADJボタンを押したまま ミニッツ MINボタンを押して“分”を合 わせる

1回押すと1分進みます。  
押し続けると、連続して進みます。希望の時刻で、MINボタンから指をはなします。  
TIME ADJとPRESET/BANDボタンを押したままMINボタンを押すと分が逆送りになります。  
“0”秒からスタートします。  
秒まで正確に合わせるときは電話の時報サービス(117番:有料)をご利用になると便利です。



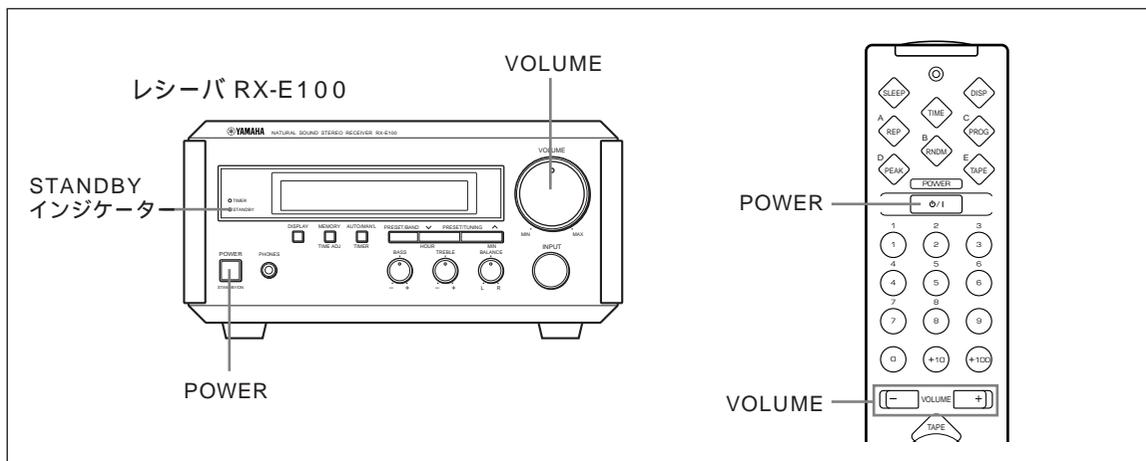
### 時刻を表示させるには

本体のDISPLAYボタン、またはリモコンのDISPボタンを押します。約8秒間時刻が表示されます。

### ご注意

5分以上電源コードが抜けたり、停電になると、時計は停止します。再び、時刻を合わせてください。  
時刻合わせをしないと、タイマー再生・タイマー録音はできません。

# 基本操作(電源・音量・音質)



## 電源を入れる・切るには

電源プラグがコンセントに接続され、本機の電源が切れている状態をスタンバイ状態 (STANDBY) といいます。スタンバイ状態ではメモリー保持のため微弱な通電を行っており、STANDBYインジケータが点灯します。この状態で、本機およびリモコンのPOWERボタンを押して電源の入/切ができます。

CDプレーヤCDX-E100や、別売のMDプレーヤMDX-E100、カセットデッキKX-E100では、システム接続していればPOWERボタンを押さなくてもレシーバRX-E100の電源と連動して電源が入/切します。

### オートパワーオフ機能

レシーバRX-E100のファンクションがTUNERおよびAUX以外のとき、すべての接続機器が停止状態のまま30分間何もボタン操作をしなかった場合は、自動的に電源が切れます。

## 音楽のエチケット



楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、十分気を付けましょう。

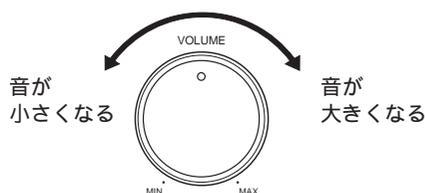
夜間にお使いになるときは、ご近所のご迷惑にならないよう、音量を小さくするか、ヘッドホンでお楽しみください。

ヘッドホンをご使用になるときは、耳をあまり刺激しないよう、音量を小さくしてお楽しみください。

## 音量を変えるには

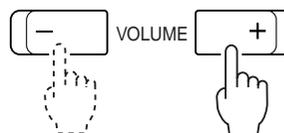
### 本体

VOLUMEつまみを回す



### リモコン

VOLUMEボタンの '+' または '-' を押す



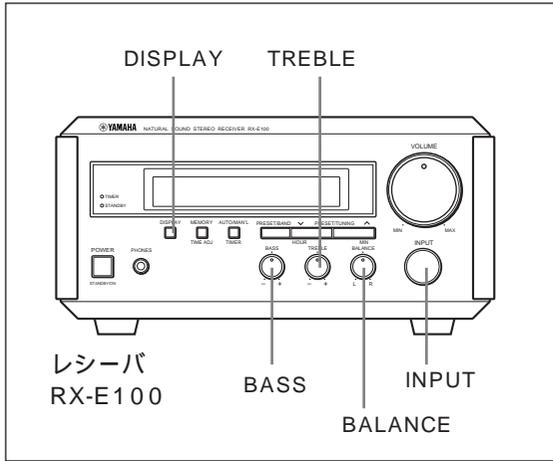
音が小さくなる

音が大きくなる

## ご注意

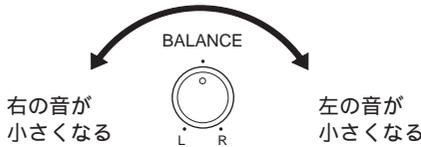
デジタル録音されているCDは、音の強さの変化範囲が広がっています。小さい音から大きい音に急激に変化する音楽などを大きな音量 (最大付近) で長時間聞くと、スピーカーを破損する恐れがありますので、音量設定に注意してご使用ください。

# 基本操作(電源・音量・音質)



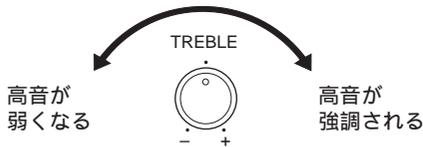
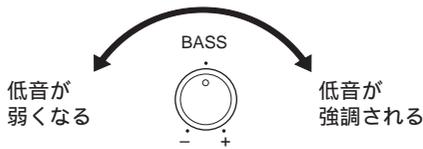
## 左右の音量を調整するには

BALANCEつまみを回す



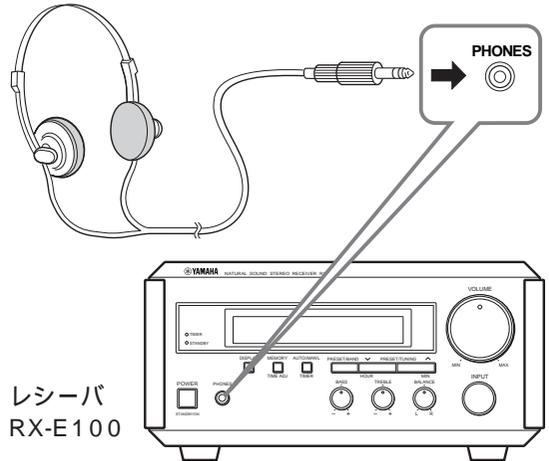
## 音質を調整するには

BASS(低音)つまみ、TREBLE(高音)つまみを回す



## ヘッドホンで聞くには

接続するときは音量を下げてください。  
ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからは音は聞こえなくなります。  
インピーダンス16 ~ 50 (推奨32)で、直径3.5mmステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。



ヘッドホンは付属していませんので、お買い上げの販売店でお求めください。

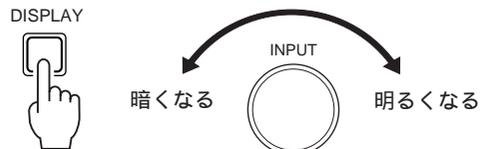
## 表示窓の明るさを調節する

- 1 DISPLAYボタンを2秒以上押して、表示窓に「Dimmer」を表示させる



はじめて調節するときには「Dimmer ±0」が表示され、いちばん明るい設定が±0です。

- 2 DISPLAYボタンを押したまま、INPUTつまみを回す  
±0(いちばん明るい)から-6(いちばん暗い)の範囲で明るさを調整できます。



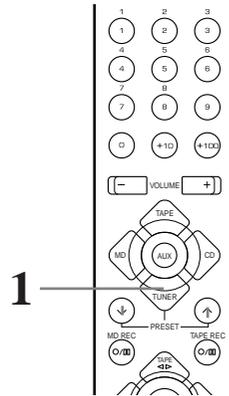
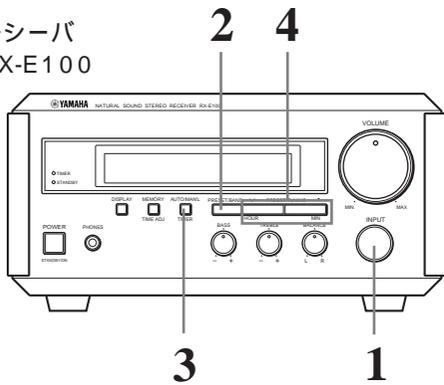
システム接続している場合は、他の機器の表示窓も同じ明るさになります。

# ラジオ放送を聞くには

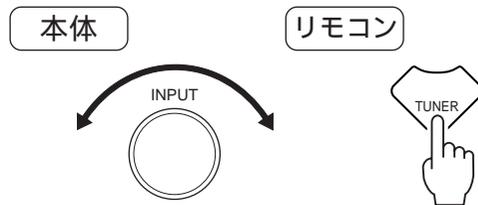
## 選局する

選局のしかたには、自動的に選局するオート選局と、手動で選局するマニュアル選局の2種類あります。電波の強い放送局を受信するときは、オート選局が速くて便利ですが、電波の弱い放送局は、マニュアル選局をしてください。

レシーバ  
RX-E100

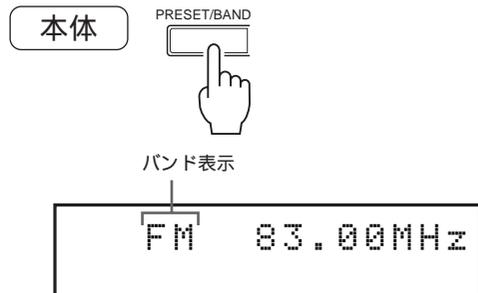


- 1 本体のインプットつまみを回すか、リモコンのTUNERボタンを押してファンクションをTUNERにする



- 2 プリセットバンド PRESET/BANDボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ

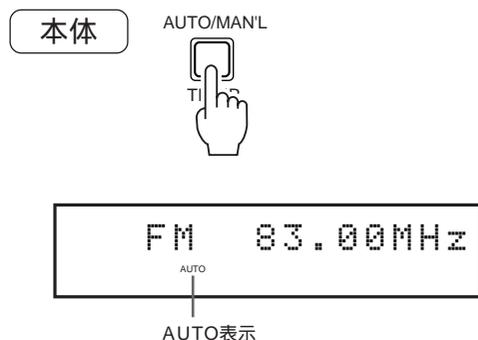
PRESET表示が消えていることを確認してください。



- 3 オートマニュアル AUTO/MAN'Lボタンでオート選局かマニュアル選局を選ぶ

**オート選局**  
AUTO/MAN'Lボタンを押して、表示窓にAUTOインジケーターを点灯させます。

**マニュアル選局**  
AUTO/MAN'Lボタンを押して、表示窓のAUTOインジケーターを消します。



# ラジオ放送を聞くには

## 4 プリセット チューニング PRESET/TUNING ▽ または △ ボタンを押す

低い周波数の放送局を探すときは ▽ ボタンを、高い周波数の放送局を探すときは △ ボタンを押します。

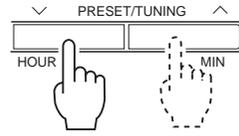
### オート選局

自動的に選局し停止します。受信した放送局が希望の局ではないときは、もう一度 PRESET/TUNING ボタンを押します。

### マニュアル選局

希望の周波数が表示されるまで押します。押し続けると連続的に周波数が変わります。

本体



ステレオ放送を受信すると点灯  
(電波が弱いと点灯しない場合があります。)



受信するとTUNED表示が点灯

ステレオ放送で雑音が目ざわりなときは、AUTO/MAN'L ボタンを押して AUTO 表示を消します。モノラル受信になりますが、雑音は減ります。

## ご注意

テレビの近くで AM 放送を受信すると、AM 放送に雑音が入ることがあります。コンピューターやワープロ、携帯電話などのデジタル機器の近くでラジオ放送やテレビ音声を受信すると、雑音が入ることがあります。このようなときは、本機との距離を離してください。

## テレビ放送を受信するには

PRESET/BAND ボタンで FM を選んで、次の周波数に合わせるとテレビ放送 (1~3 チャンネル) を受信できます。テレビ放送帯 (90.05 ~ 108.00 MHz) に入るとバンド表示が「FM」から「TV」にかわります。

チャンネル	周波数
1	95.75MHz
2	101.75MHz
3	107.75MHz

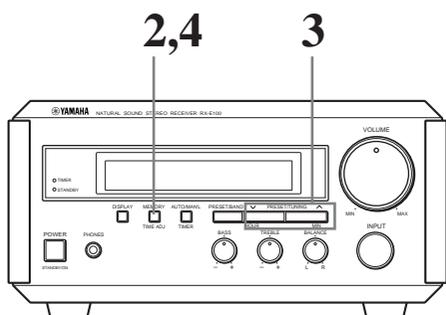
ステレオ放送を受信しても音声はモノラルになります。

FM 放送とテレビ放送では音声レベルが異なります。これは放送局の方式の違いによるものです。本機のテレビ受信回路は FM 受信回路と兼用しています。このため、地域によってはテレビの 2 または 3 チャンネルの音声に FM 放送が混信することがあります。

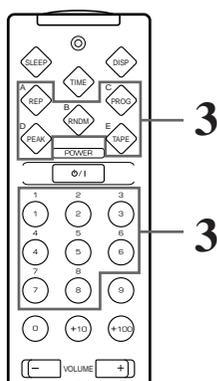
## 放送局のプリセット

放送局をプリセット(メモリー)しておけば、あとは簡単なボタン操作で選局することができます。プリセットの方法には放送局を選局してからプリセットするマニュアルと、自動的にプリセットするオートの2種類があります。

A~Eのグループにそれぞれ8局、合計40局までプリセットすることができます。プリセットしたときの受信モード(ステレオ/モノラル)もメモリーされます。



RX-E100



### マニュアルプリセットのしかた

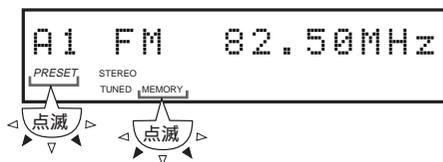
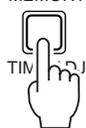
**1** 23ページのオート選局またはマニュアル選局でプリセットしたい放送局を選局する

**2** メモリー MEMORYボタンを押す

表示窓のMEMORY表示とPRESET表示が点滅し(約5秒間)プリセットできる状態になります。

本体

MEMORY



ラジオ放送を聞くには

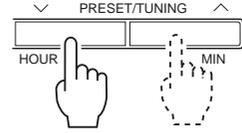
# ラジオ放送を聞くには

↓ (5秒以内)

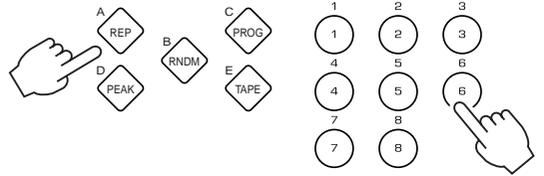
## 3 PRESET/TUNING ↓ または ↑ ボタンを押して、希望するプリセット番号を表示させる

PRESET/TUNING ↓ または ↑ ボタンを押し続けるとプリセットグループ (A/B/C/D/E) を選べます。  
リモコンの A/B/C/D/E ボタンと 1~8 ボタンを使ってプリセット番号を選べます。

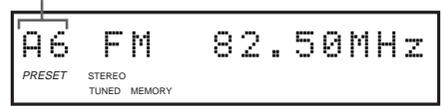
本体



リモコン



プリセット番号

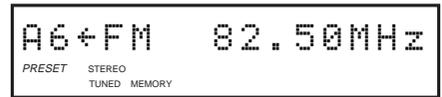


↓ (5秒以内)

## 4 MEMORY ボタンを押す

選んだプリセット番号にメモリーされます。

本体



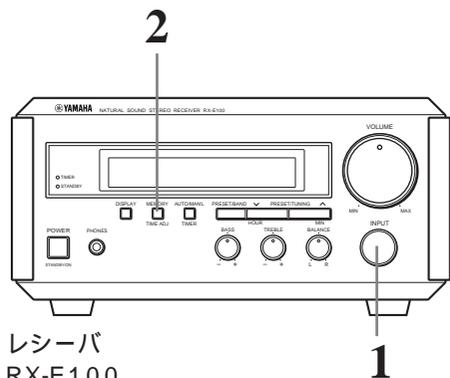
プリセットした放送局を変更するには 1~4 の手順をくり返します。前の放送局に変わって新しくプリセットした放送局がメモリーされます。

### チューナの記憶保持について

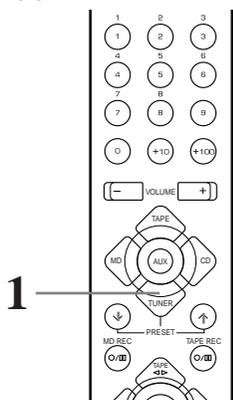
電源コードを電源コンセントから外しても、一週間はチューナの記憶内容は消えずに記憶しています。ただし、一週間以上電源コードを電源コンセントから外すと、記憶した内容が消えることがあります。そのときは、再び放送局を記憶させてください。

## オートプリセットのしかた

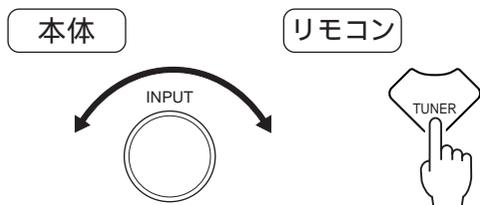
電波の強い放送局のみを自動的にプリセットします。



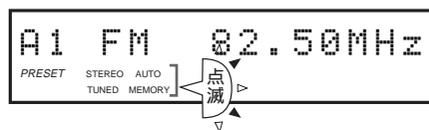
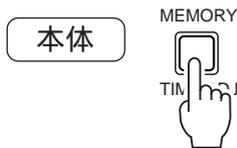
レシーバ  
RX-E100



**1** インプットつまみを回すか、リモコンのTUNERボタンを押してファンクションをTUNERにする



**2** メモリー MEMORYボタンを約2秒間押し続ける



表示窓のMEMORY表示とAUTO表示が点滅し、オートプリセットが始まります。

FMの放送局をA1から順にメモリーし、次にAMの放送局をメモリーします。周波数の低い方から順番にメモリーします。

オートプリセットが終わると、A1にプリセットした放送局が聞こえます。オートプリセットでは、同一プリセットグループ A/B/C/D/E 内にFMとAMの放送局は混在しません。

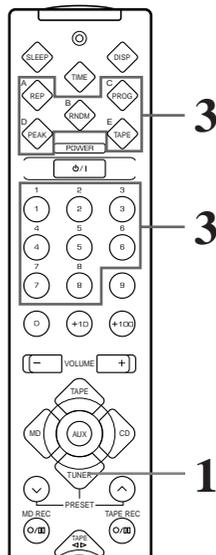
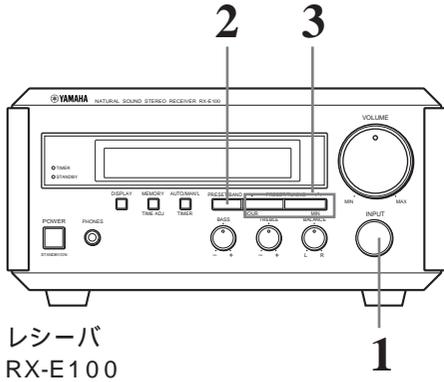
### ご注意

マニュアルまたはオートプリセットで新しい放送局がプリセットされると、前にプリセットされていた放送局は消え、新しい放送局に入れかわります。ノイズの多い場所などでは、FMでメモリーがいっぱいになり、AMがメモリーされないことがあります。オートプリセットでは、テレビ放送局はメモリーされません。

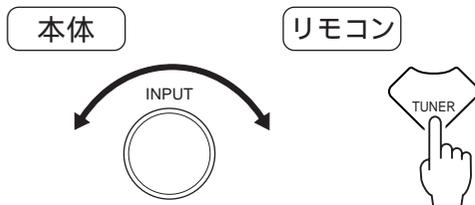
ラジオ放送を聞くには

# ラジオ放送を聞くには

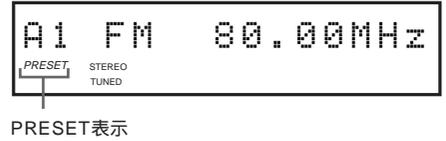
## プリセットした放送局を呼び出すには



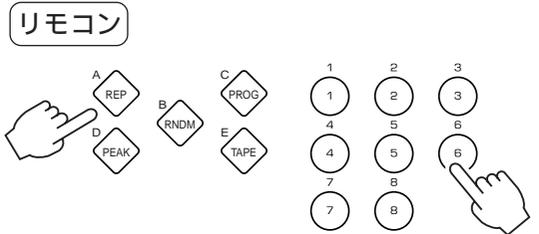
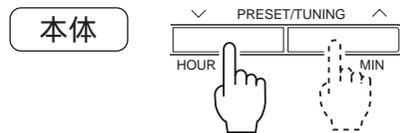
**1** インプットつまみを回すか、リモコンのTUNERボタンを押してファンクションをTUNERにする



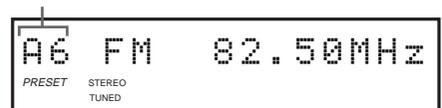
**2** プリセットバンド PRESET/BANDボタンを押して、表示窓にPRESET表示を点灯させる



**3** プリセットチューニング PRESET/TUNING∨または∧ボタンを押すか、リモコンのA/B/C/D/Eボタンと1~8ボタンを使って、希望のプリセット番号を表示させる



プリセット番号

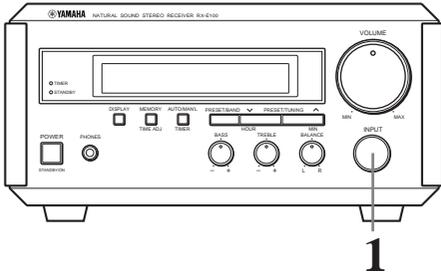


PRESET/TUNING∨または∧ボタンを押し続けるとプリセットグループ(A/B/C/D/E)を選べます。

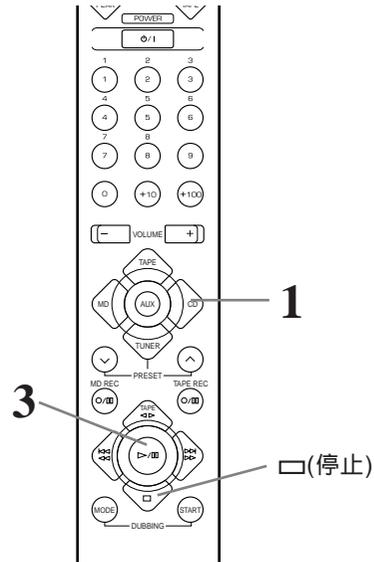
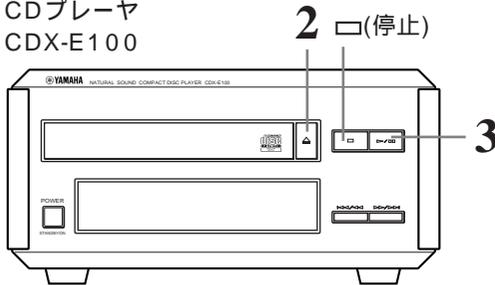
# CDを聞くには

## CDを演奏するには

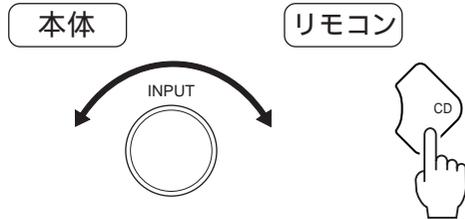
レシーバ  
RX-E100



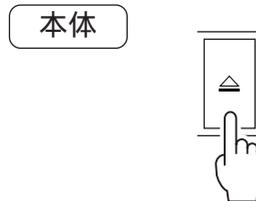
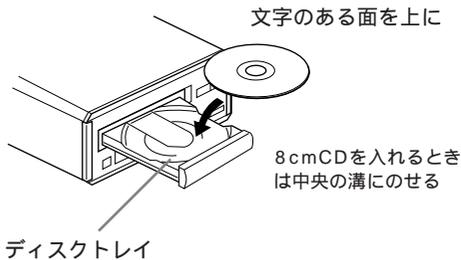
CDプレーヤ  
CDX-E100



- 1** 本体のインプットつまみを回すか、リモコンのCDボタンを押してファンクションをCDにする



- 2** △ボタンを押してディスクトレイを開け、CDを入れる

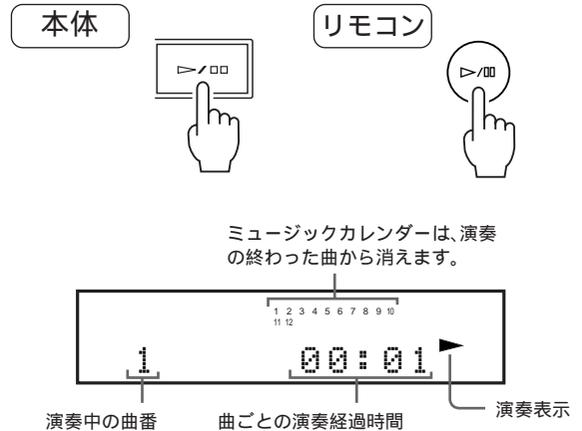


## 3 ▷/00ボタンを押す

ディスプレイが閉まり、CD演奏が始まります。

音量や音質は21ページをごらんのうえ調整してください。

ディスプレイを手で押して閉めると、閉ったあと自動的に再生が始まります。



### 演奏を一時的に止めるには (一時停止) ▷/00

▷/00ボタンを押す  
“■ ■”表示が点灯します。

再び演奏を始めるときは、もう一度▷/00ボタンを押す  
止めたところから演奏が始まります。

### 演奏を止めるには □

□ボタンを押す

演奏中に、他のファンクションに切り換えると、CDは自動的に止まります。

### CDを取り出すには △

△ボタンを押す

演奏中に押すと、演奏を停止してからディスプレイが出てきます。

### ご注意

CDをディスプレイに入れたままの状態、本機を移動したり傾けたりしないでください。

### ワンタッチ演奏 (ダイレクトプレイ)

電源が入っているとき  
本体の▷/00ボタンを押す  
CDがディスプレイに入っていれば、他のファンクションを再生中でも、ワンタッチでCDの演奏を始めることができます。

電源が切れているとき  
本体の▷/00ボタンを押す  
自動的に電源が入り、CDの演奏が始まります。

### 演奏を始める前に総曲数と演奏時間を知るには

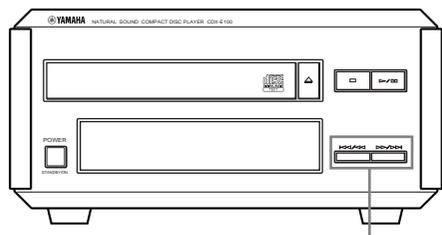
CDを入れたあと△ボタンを押すと、ディスプレイを閉じてディスクの総曲数、総演奏時間、タイトルテキスト(CD TEXTのみ)を数秒間表示します。

## 曲の頭出しをするには (トラックサーチ)

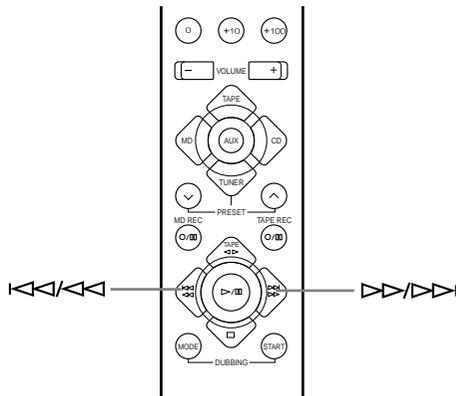
## 聞きたい所をさがすには (スピードサーチ)

◀◀/▶▶、▶▶/▶▶ ボタンは、一回ずつ押すとスキップボタン、押し続けるとサーチボタンとして働きます。

CDプレーヤ  
CDX-E100

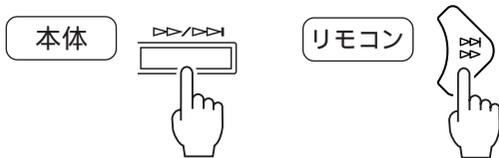


◀◀/▶▶、▶▶/▶▶

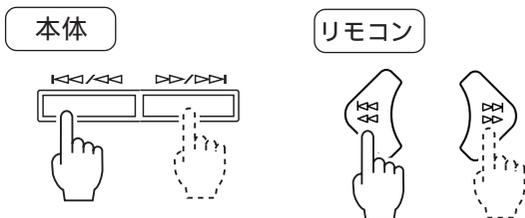


### 次の曲の頭から聞くには

演奏中に、▶▶/▶▶スキップボタンを押す

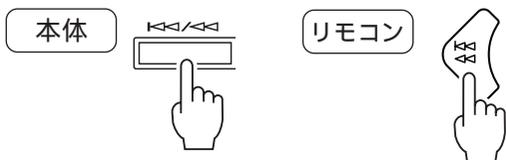


### 1 演奏中に、サーチボタンを押し続ける



### 演奏中の曲を聞き直すには

演奏中に、◀◀/◀◀スキップボタンを押す



### 2 聞きたい所で、サーチボタンから指を離す

その位置から演奏が始まり、元の音量に戻ります。

くり返して押すと、曲番は大きく▶▶/▶▶(小さく◀◀/◀◀)なり、表示された曲番から演奏が始まります。

#### メモ

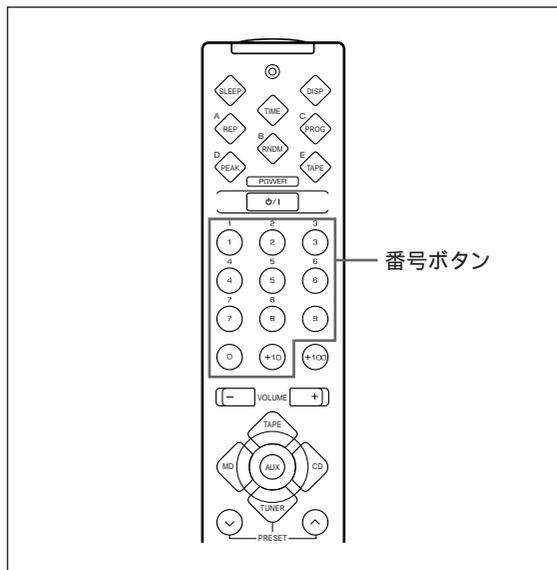
一時停止中でもサーチ操作ができます。(音声なし)

#### メモ

一時停止中または停止中では、曲番が選べます。演奏したい曲番が表示されたら、▶/▶ボタンを押して演奏を始めます。

# CDを聞くには

## 曲番を指定して聞くには (ダイレクト選曲)



### リモコンの番号ボタンで曲番を指定する

- ① ~ ⑨、⑩ ボタン : 1の位を指定
- ⑪ ボタン : 10の位を指定

12曲目を選ぶときは

⑪ ⑫ と押します。

20曲目を選ぶときは

⑪ ⑪ ⑩ と押します。

2つ以上のボタンを押すときは、3秒以内に押します。

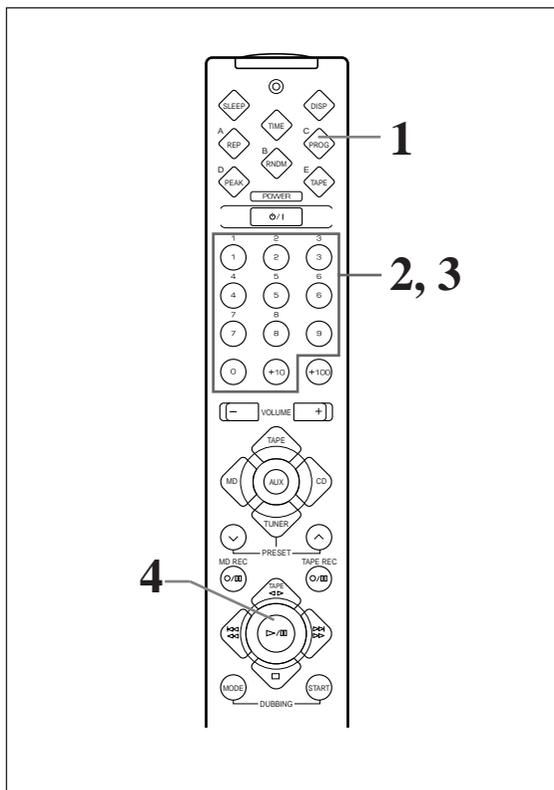
選んだ曲の頭から演奏が始まります。

## 聞きたい曲を聞きたい順に 記憶させるには (プログラム演奏)

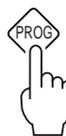
聞きたい曲を最大で30曲までプログラムして、好きな順に聞くことができます。

### ご注意

プログラム操作は、停止中のみ行えます。

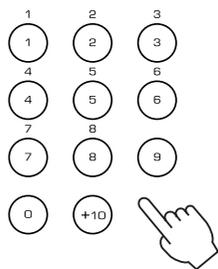


### 1 停止中に、プログラム PROGボタンを押す

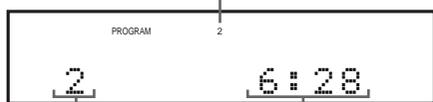


## 2 番号ボタンで曲番を選ぶ

番号ボタンの使いかたは、32ページの「曲番を指定して聞くには」をご覧ください。



プログラムした曲番

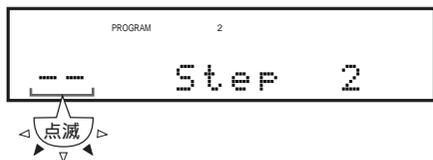


プログラムした曲番

プログラムした曲の合計時間



数秒後に



## 3 手順2をくり返して好きな曲をプログラムする (30曲まで選べます)

## 4 ▷/00 ボタンを押す



プログラム演奏が始まります。

## プログラムの確認 / 訂正

1. 停止中に、PROGボタンを押す  
プログラムセット中は、PROGボタンを押す必要はありません。2以降の操作をしてください。
2. スキップボタン(◀◀/▶▶または▶▶/▶▶)を押す  
押すごとにプログラムした曲が順次表示され、プログラムを確認できます。
3. プログラムを訂正したいとき  
訂正したいプログラムを表示させ、正しい曲番を番号ボタンで選びます。

## プログラムの解除

停止中に □ (停止) ボタンを押す  
プログラムされた内容はすべて解除されます。またディスクトレイを開けたり、電源を切ると同様に解除されます。

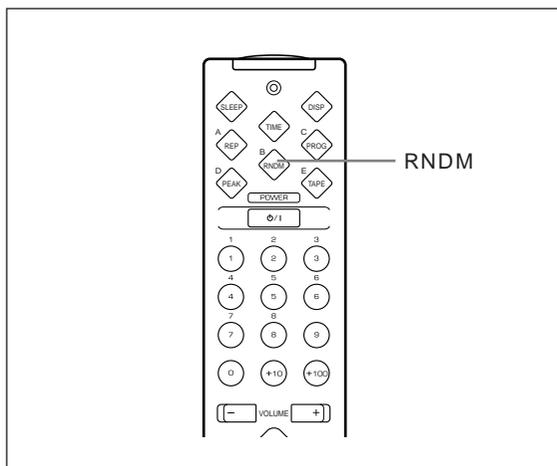
### メモ

スキップボタンでプログラムした曲の自動頭出し(31ページ)ができます。

スピードサーチ(31ページ)を行うと、プログラムしていない曲も含めて演奏中のディスクのすべての曲をサーチします。

# CDを聞くには

## 順不同で聞くには (ランダム演奏)



ランダム  
RNDMボタンを押す



ディスクの全曲をランダム演奏します。

### メモ

ランダム演奏中にスキップボタン▶▶/▶▶を押すとランダムにプログラムされた次の曲が演奏されます。スキップボタン◀◀/◀◀を押すと演奏中の曲の頭にに戻ります。

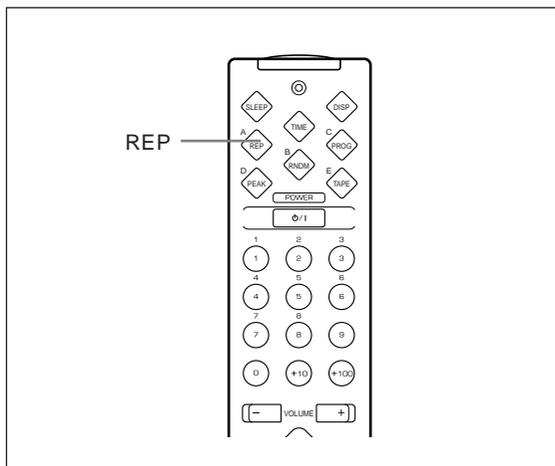
### ご注意

プログラム選曲が解除されていないと、ランダム演奏はできません。

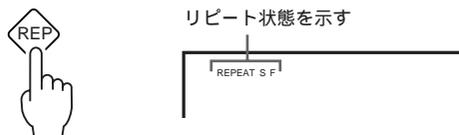
### 解除のしかた

□ (停止) ボタンまたはRNDMボタンを押します。また、△ボタンを押してトレイを開けると解除されます。

## くり返し聞くには (くり返し演奏)



リピート  
REPボタンを押す



REPボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

シングルリピート(1曲): REPEAT S

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

フルリピート(全曲): REPEAT F

ディスクのすべての曲を繰り返し演奏します。

リピート解除: 消灯

### メモ

プログラム演奏・ランダム演奏もくり返し演奏できません。

### ご注意

テーププログラム(38ページ)のリピートはできません。

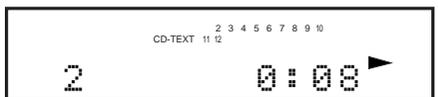
## 演奏時間の表示を切り換えるには

演奏中に、<sup>タイム</sup>TIMEボタンを押す

TIMEボタンを押すごとに次のように切り換わります。

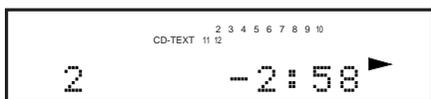
例) 2曲目を演奏しているとき

曲ごとの演奏経過時間



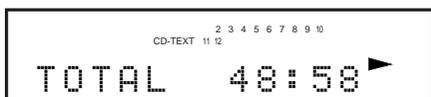
2曲目の頭から8秒経過

曲ごとの残り時間



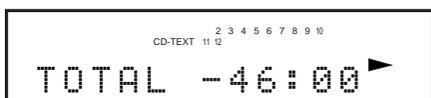
2曲目の終わりまであと2分58秒

総演奏時間(TOTAL表示)



通常はディスクの総演奏時間を示します。プログラム演奏時はプログラムした曲の総演奏時間を示します。

総残り時間(-TOTAL表示)



CDの終わり、またはプログラムの終わりまであと41分です。

CD TEXTディスク  
のとき

CD TEXTディスク  
でないとき

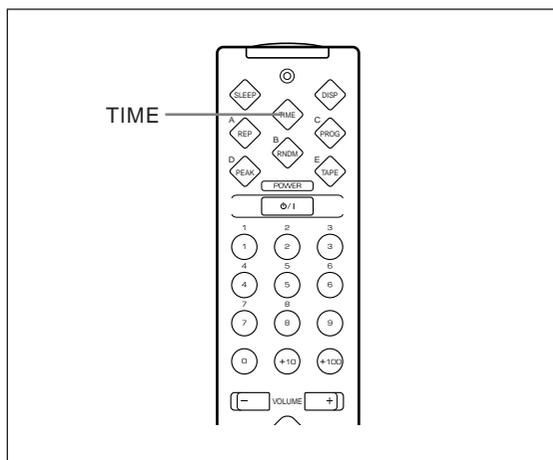
タイトルテキスト



アーティストテキスト



トラックテキスト



ランダム演奏中は、総残り時間の表示はしません。

CDによっては、ジャケットなどに記載されている演奏時間に、曲間部の時間が含まれていないため、表示内容が合わないことがあります。

プログラム選曲の総演奏時間が100分を超えた場合、総演奏時間および総残り時間の表示はしません。

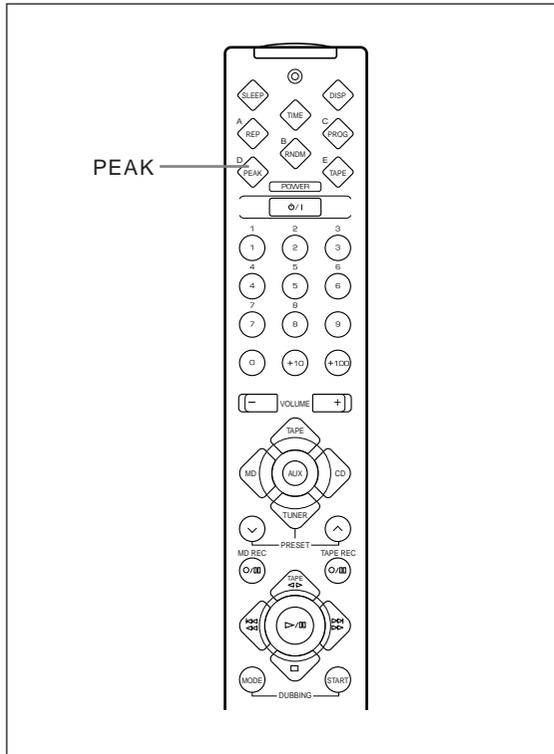
プログラム設定中にTIMEボタンを押すと、プログラムの総演奏時間を表示します。

CD TEXTディスクにタイトルテキスト、アーティストテキスト、トラックテキストが記録されていないときは、(No Entry)と表示されます。

# CDを聞くには

## ディスク内の最大の音をさがす (ピークレベルサーチ)

ディスク内の最も音量レベルが大きいところを自動的にさがし出し、繰り返し演奏します。  
テープに録音する際、デッキの録音レベルを調整するときに便利です。



ピーク  
停止中に、PEAKボタンを押す



ディスク内の最も音量レベルが大きいところを自動的にさがします。サーチ終了後、その部分を繰り返し演奏します。

ディスクトレイにディスクをセットしてPEAKボタンを押してもディスクトレイが閉まり、自動的にピークレベルサーチになります。  
プログラムした曲だけをピークサーチすることもできます。プログラム選曲後にPEAKボタンを押すと、プログラムされた曲の範囲内でサーチがおこなわれます。

## 解除のしかた

□(停止)ボタンを押します。

### ご注意

同じディスクでピークレベルサーチを2回以上おこなった場合、同じ部分が選ばれないことがあります。これは内蔵のマイクロコンピューターが、そのつどランダムに何ヶ所かのポイントを選び出し、その中で音量レベルの比較をおこなうためです。

# 録音するには

シンクロ録音およびダビング録音は、別売のMDレコーダMDX-E100、またはカセットデッキKX-E100と組み合わせておこないます。システム接続のしかたは、10、12ページをご覧ください。シンクロ録音およびダビング録音は、他のヤマハ製品および他社の製品にかかわらずこれらの組合せ以外では行なえませんのでご注意ください。

## シンクロ録音

シンクロ録音は、再生と、録音が連動して始まる機能です。次の5つの組み合わせが可能です。

CD TAPE、MD TAPE、CD MD、TAPE MD、CD TAPE&MD

ダビング録音とは異なり、好きな曲だけを録音するのに便利です。

MDレコーダとカセットデッキの操作は、それぞれの説明書をご覧ください。

レシーバのファンクションをINPUTつまみかリモコンのインプットボタンで、再生する機器に合わせてください。

### 1 録音側を録音待機状態にする

### 2 再生側の演奏をスタートする

録音待機状態が自動的に解除され、録音が始まります。

## シンクロ録音を止めるには

再生側の□(停止)ボタンを押します。録音側は録音待機状態になります。

### メモ

CD TEXTディスクをMDにシンクロ録音すると、テキストデータのうちトラックテキストデータのみ記録されます。プロテクトのかかっているディスクでは、テキストデータはMDに記録されません。

録音中に音量(VOLUME・BALANCE)や音質(BASS・TREBLE)を調節しても録音される音には影響ありません。

## ダビング録音

ダビング録音は、CD、MD、テープを一枚まるごと録音するのに便利です。

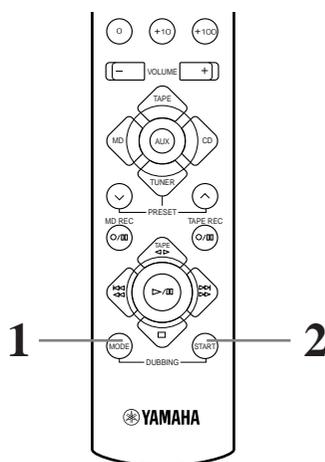
ダビング録音は、次の6つのモードがあります。

CD MD  
CDからMDへ録音します。CDのプログラム曲を録音できません。CD TEXT ディスクの場合、タイトルテキスト、アーティストテキスト、トラックテキストデータも記録します。

CD (Tr1) MD  
CD (Tr1) TAPE  
CDの1曲目のみ録音します。1曲目が終了すると、CDプレーヤのディスクトレイが開きます。CDを入れ換えてディスクトレイを指で押すと、再び1曲目の録音が始まります。シングルCDの録音に便利です。

CD TAPE  
MD TAPE  
CDまたはMDをテープの頭から録音します。A面のテープエンドで曲が途切れた場合、同じ曲をB面から録音します。B面のテープエンドに近づいたら自動的にフェードアウトします。CD、MDのプログラム曲を録音できます。

TAPE MD  
テープA面の頭からMDへ録音します。

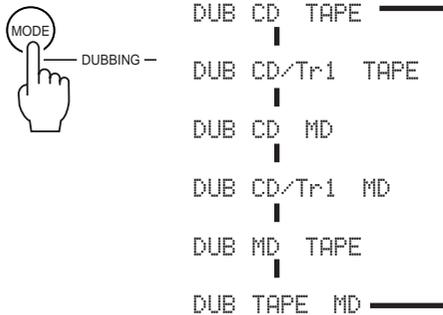


次のページへつづく

# 録音するには

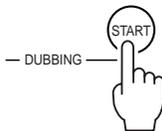
## 1 停止中に、<sup>ダビング</sup> DUBBING MODE <sup>モード</sup> ボタンを押してダビングモードを選ぶ

DUBBING MODEボタンを押すごとに次のように切り換わります。



接続されていない機器は表示されません。

## 2 <sup>ダビング</sup> DUBBING START <sup>スタート</sup> ボタンを押してダビング録音をスタートさせる



録音が終わると自動的に停止します。

### メモ

録音中に音量(VOLUME・BALANCE)や音質(BASS・TREBLE)を調節しても録音される音には影響ありません。

## テープの長さに合わせてCDを曲切れしないように録音する(テーププログラム)

指定したテープの長さからRX-E100が残り時間を計算して、時間内におさまるように曲のプログラムができます。

テーププログラムには、次の3種類あります。

### マニュアルテーププログラム

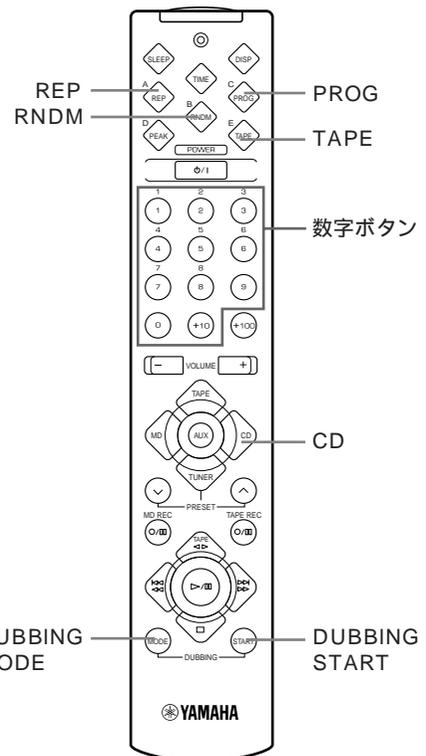
時間を指定するとその時間に入りきらなくなるまで自分で曲を選ぶことができます。

### オートテーププログラム

CDの曲順どおりに自動的にプログラムされます。

### ランダムテーププログラム

A面B面とも時間に合うように、曲順を変えて自動的にプログラムされます。



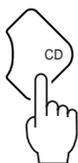
テープの録音時間は、ケースやカセット面に表示されている時間よりも多少長めに作られています。そのため、テープの長さを指定しても、テープが余るときがあります。

## マニュアルテーププログラム

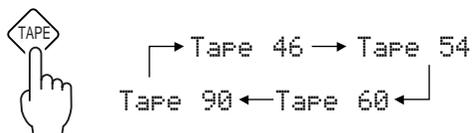
- 1 CDプレーヤCDX-E100にCDを入れ、カセットデッキKX-E100に録音テープを入れて録音の準備をする

録音の準備操作については、KX-E100の説明書をご覧ください。

- 2 CDボタンを押してレシーバのファンクションをCDにする



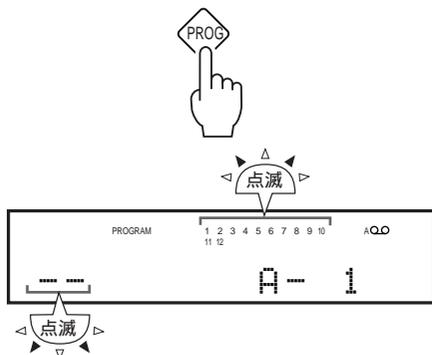
- 3 テープ停止中にTAPeボタンを押し、テープの長さを選ぶ



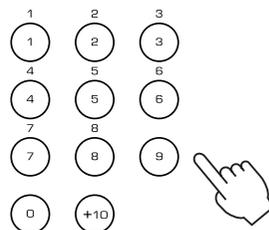
C-46、C-54、C-60、C-90以外のテープを使うときは、リモコンの数字ボタンを使ってテープの長さを設定します。

例) C-30のテープを使うとき  
TAPE 46、TAPE 54、TAPE 60、  
TAPE 90のいずれかが表示されているときに3 0と押します。

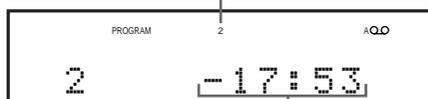
- 4 プログラムPROGボタンを押す



- 5 数字ボタンでA面に録音する曲を選ぶ



プログラムした曲番号が点灯

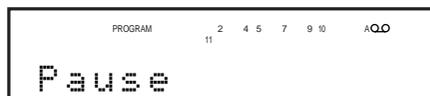


A面にプログラムできる残り時間

番号ボタンの使いかたは、32ページの「曲番を指定して聞くには」をご覧ください。テープの残り時間に入りきらない曲をプログラムしたときは「Error」と表示されます。テープの残り時間に入る曲があるときは、その曲のミュージックカレンダーが点滅します。

A面のプログラム選曲が終わったら次の6の操作を行ってください。

- 6 テープTAPeボタンを押す



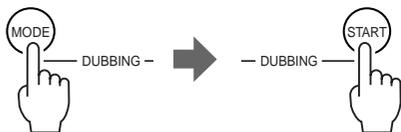
- 7 上の手順5と同じように、数字ボタンでB面に録音する曲を選ぶ

B面のプログラム選曲が終わったら次の8の操作を行ってください。

## 8 プログラム PROGボタンを押す



## 9 ダビング モード DUBBING MODEボタンを押して「CD TAPE」を選び、 ダビング スタート DUBBING STARTボタンを押してダビング録音をスタートさせる



## オートテーププログラム

### 1 マニュアルテーププログラムの手順1~3を行う

CDと録音テープを入れて録音の準備をします。  
テープの長さを指定します。

### 2 リピート REPボタンを押して、自動選曲をスタートさせる



1曲目からCDに入っている曲順で、A面B面用に、自動的にプログラムします。  
自動選曲が終わると、プログラムされた曲数、曲番、合計録音時間をA面B面の順に約3秒間表示します。

### 3 ダビング モード DUBBING MODEボタンを押して「CD TAPE」を選び、 ダビング スタート DUBBING STARTボタンを押してダビング録音をスタートさせる



## ランダムテーププログラム

### 1 マニュアルテーププログラムの手順1~3を行う

CDと録音テープを入れて録音の準備をします。  
テープの長さを指定します。

### 2 ランダム RNDMボタンを押して、自動選曲をスタートさせる



テープの長さに合わせて、A面B面に録音できる曲を、自動的に曲順を変えてプログラムします。

自動選曲が終わると、プログラムされた曲番、合計録音時間をA面B面の順に約3秒間表示します。

### 3 ダビング DUBBING MODEボタンを押して「CD TAPE」を選び、 ダビング スタート DUBBING STARTボタンを押してダビング録音をスタートさせる



## プログラムの確認 / 訂正

マニュアルテーププログラム / オートテーププログラム / ランダムテーププログラム録音では、プログラムの確認および訂正ができます。

ダビング録音をスタートさせる前に次の操作をしてください。

プログラムを確認するには:

スキップボタン(◀◀/▶▶または▶▶/▶▶)を押す  
押すごとにプログラムした曲が順次表示され、  
プログラムを確認できます。

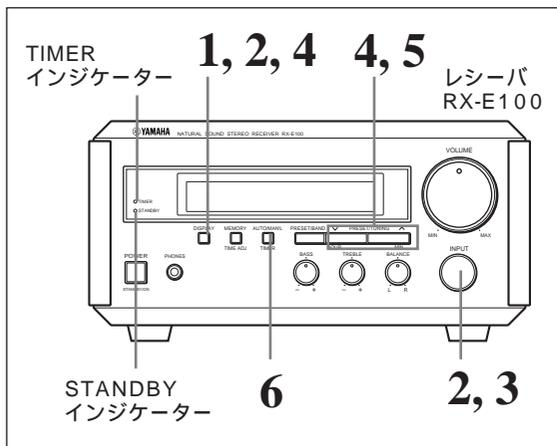
プログラムを訂正するには:

1. PROGキーを押す
2. スキップボタン(◀◀/▶▶または▶▶/▶▶)を押して訂正したいプログラムを表示させ、正しい曲番を番号ボタンで選ぶ

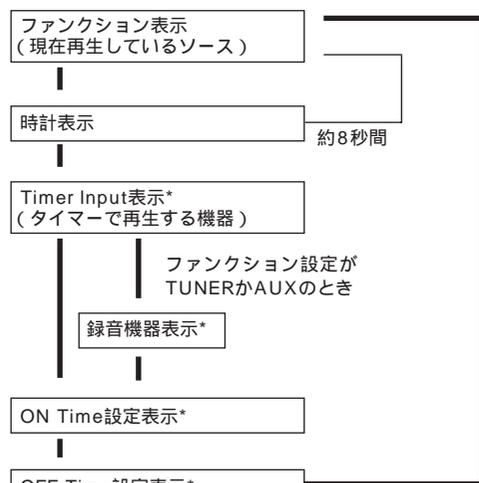
# タイマーを使うには

タイマー再生機能を使ってCDやラジオ番組などを目覚まし代わりにすることができます。また、外出したときなどタイマー録音機能を使ってラジオ番組を録音できます。

時計合わせを行っていないとタイマー機能は使えません。(19ページ)



DISPLAYボタンを押すごとに、次のように表示が切り換わります。



\* 各設定表示は、約10秒間何も設定しないと自動的に次の表示に移ります。

## CDやラジオ番組をタイマー演奏するには (タイマー再生)

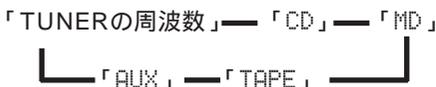
タイマー再生を始める前に聞きたい音源の準備をしてください。(CDをディスクトレイに入れておく、ラジオの放送局をプリセットしておく、など) あらかじめ、音量を調整してください。

**1** ディスプレイ  
DISPLAYボタンを2回押して  
「Timer Input」表示にする

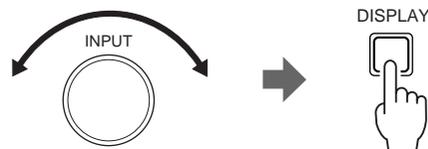


**2** インプット  
INPUTつまみを回して再生する機器を選び、DISPLAYボタンを押す

INPUTつまみを右に回すと、次のように切り換わります。

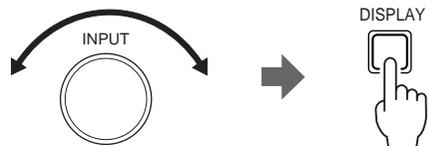


左に回すと逆に切り換わります。



TUNERを選んだときは、PRESET/TUNINGボタンでプリセットした放送局を選べます。

**3** インプット  
INPUTつまみを回して「Rec Mode OFF」を選び、DISPLAYボタンを押す

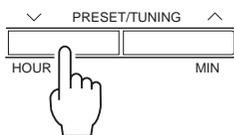


手順2で、TUNERとAUX以外を選んだときは、手順4に進みます。

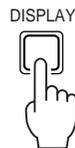
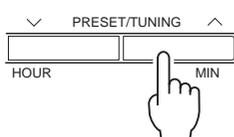
## 4 「ON Time」設定表示で、<sup>アワー</sup>HOUR ボタンと<sup>ミニッツ</sup>MIN ボタンを押して開始時刻を設定し、<sup>ディスプレイ</sup>DISPLAY ボタンを押す

PRESET/BAND ボタンを押したまま HOUR ボタン、MIN ボタンを押すと時間が逆送りになります。

HOUR ボタンで「時」を合わせる



MIN ボタンで「分」を合わせる



ON AM 7:30

## 5 「OFF Time」設定表示で、<sup>アワー</sup>HOUR ボタンと<sup>ミニッツ</sup>MIN ボタンを押して終了時刻を設定する

上の4と同じ手順で時刻を設定します。設定前は、開始時刻の1時間後の時刻になっています。

OFF AM 8:30

## 6 <sup>タイマー</sup>TIMER ボタンを押す

電源が切れます。STANDBYインジケータとTIMERインジケータが点灯します。

設定した時刻がくると、タイマー再生が動作します。

AUTO/MAN/L



タイマー設定が終わったあとで、本機を使うときは、POWER ボタンを押して電源を入れます。表示窓にTIMER表示が点灯します。

電源が入った状態でもタイマー再生は動作します。ただし、タイマー開始時刻に録音していた場合は、設定しておいたタイマー再生にはなりません。

### タイマー動作を中止するには

電源を入れた状態では、DISPLAY ボタンを押して時計表示にしてからTIMER ボタンを押します。表示窓のTIMER表示が消え、タイマーは中止されます。電源が切れているとき(スタンバイ中)は、TIMER ボタンを押します。TIMER表示が消え、タイマーは中止されます。

### タイマーの記憶について

電源コードを抜いたり停電しても、約5分まではタイマー設定した内容を記憶しています。

# タイマーを使うには

## ラジオ番組やAUX端子につないだ機器の留守録音をするには(タイマー録音)

タイマー録音は、別売のMDレコーダMDX-E100またはカセットデッキKX-E100が接続されていないと行えません。

ラジオ番組をタイマー録音するときは、録音したいラジオの放送局をプリセットしておいてください。あらかじめ、音量を調整してください。タイマー録音が始まったときに音を出したくない場合は、VOLUMEつまみをMINにしておきます。

- 1 <sup>ディスプレイ</sup> DISPLAYボタンを2回押して  
ファンクション設定表示にする



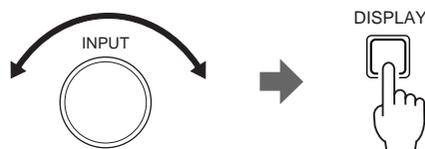
- 2 <sup>インプット</sup> INPUTつまみを回してTUNER  
<sup>ディスプレイ</sup> またはAUXを選び、DISPLAY  
ボタンを押す

INPUTつまみを右に回すと、次のように切り換わります。

「TUNERの周波数」 — 「CD」 — 「MD」

└ 「AUX」 — 「TAPE」 ─┘

左に回すと逆に切り換わります。



TUNERを選んだあとに、PRESET/TUNINGボタンでプリセットした放送局を選べます。

- 3 <sup>インプット</sup> 録音機器表示で、INPUTつまみを  
回して録音する機器を選び、  
<sup>ディスプレイ</sup> DISPLAYボタンを押す

INPUTつまみを右に回すと、次のように切り換わります。

左に回すと逆に切り換わります。

TUNERを選んだとき

「REC Mode OFF」 — 「TUNER MD」 ┘

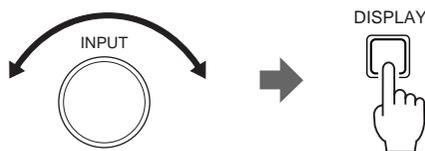
└ 「TUNER MD&TAPE」 — 「TUNER TAPE」 ─┘

AUXを選んだとき

「REC Mode OFF」 — 「AUX MD」 ┘

└ 「AUX MD&TAPE」 — 「AUX TAPE」 ─┘

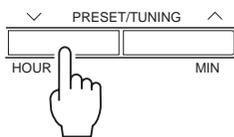
接続されていない機器は表示されません。



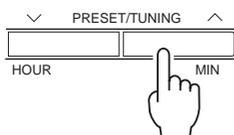
## 4 「ON Time」設定表示で、<sup>アワー</sup>HOUR ボタンと<sup>ミニッツ</sup>MIN ボタンを押して開始時刻を設定し、<sup>ディスプレイ</sup>DISPLAY ボタンを押す

PRESET/BAND ボタンを押したまま HOUR ボタンとMIN ボタンを押すと時間が逆送りになります。

HOUR ボタンで「時」を合わせる



MIN ボタンで「分」を合わせる



DISPLAY



ON PM 5:00

## 5 「OFF Time」設定表示で、<sup>アワー</sup>HOUR ボタンと<sup>ミニッツ</sup>MIN ボタンを押して終了時刻を設定する

上の4と同じ手順で時刻を設定します。設定前は、開始時刻の1時間後の時刻になっています。

OFF PM 6:30

## 6 <sup>タイマー</sup>TIMER ボタンを押す

電源が切れます。STANDBYインジケーターとTIMERインジケーターが点灯します。

設定した時刻がくると、タイマー録音が動作します。

AUTO/MAN'L



タイマー設定が終わったあとで、本機を使うときは、POWER ボタンを押して電源を入れます。表示窓にTIMER表示が点灯します。

電源が入った状態でもタイマー録音は動作します。ただし、タイマー開始時刻に録音していた場合は、設定しておいたタイマー録音にはなりません。

### ご注意

MDのタイマー録音スタートは設定時間より10秒ほど遅れます。

### タイマー動作を中止するには

電源を入れた状態では、DISPLAY ボタンを押して時計表示にしてからTIMER ボタンを押します。表示窓のTIMER表示が消え、タイマーは中止されます。電源が切れているとき(スタンバイ中)は、TIMER ボタンを押します。TIMER表示が消え、タイマーは中止されます。

### タイマーの記憶について

電源コードを抜いたり停電しても、約5分まではタイマー設定した内容を記憶しています。

# タイマーを使うには

## 聞きながらおやすみになるには(スリープタイマー)

設定した時間が経過すると、電源が切れます。

### 1 聞きながらおやすみになりたいものを操作する

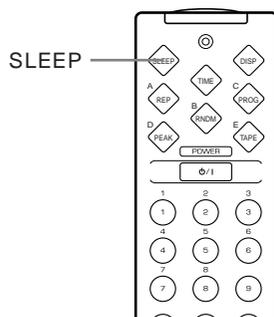
ラジオ放送、CDを聞きながらおやすみになれます。

### 2 リモコンのSLEEPボタンを押してスリープ時間を選ぶ

ボタンを押すごとに、スリープ時間が次のように切り換わります。

「SLEEP 2h00m」 — 「SLEEP 1h30m」 — 「SLEEP 1h00m」  
└── 「SLEEP OFF」 — 「SLEEP 0h30m」 ──┘

ディスプレイにSLEEP表示が点灯します。  
希望の時間設定後、約4秒で、通常表示に戻ります。



### スリープ動作を途中でやめるには

SLEEPボタンを押して、「SLEEP OFF」を選びます。  
SLEEP表示が消えます。  
またはPOWERボタンを押して電源を切ります。

### スリープタイマーと タイマー再生/タイマー録音の併用について

スリープタイマーをセットしたあとで、タイマー録音/再生をセットすると電源が切れるのでスリープタイマーは解除されてしまいます。これを避けるには次の順序でタイマーをセットしてください。

タイマー録音/再生をセットする(電源が切れる)

電源を入れる

スリープタイマーをセットする

# CDについて

## コンパクト ディスク CD (COMPACT DISC) について

規格外のディスクはご使用にならないでください。ハート型や花の形などの変形CD(シェイプCD)は、重量バランスがアンバランスであるため、ご使用にならないでください。規格外のコンパクトディスクを本機にセットしますと、正しく演奏できないばかりでなく、ディスクトレイが開いたり、異音の発生や故障の原因となる場合があります。

### 取り扱いについて

必ず下図のマークが入っているコンパクトディスクをお使いください。



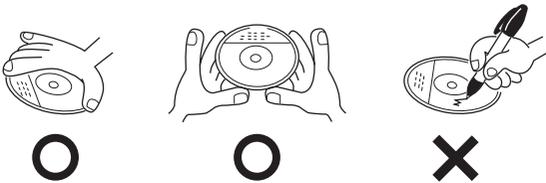
演奏面は、文字やラベルのない面です。

演奏面に触れないでください。

必ず、ディスクの縁を持ってください。

文字のある面を硬い鉛筆やボールペンなどで文字を書かないでください。

信号をそこないますので、演奏面と同様にキズをつけないよう注意してください。



### 保管場所のご注意

ほこりやキズ、変形などを避けるため、必ず専用ケースに入れて保管してください。

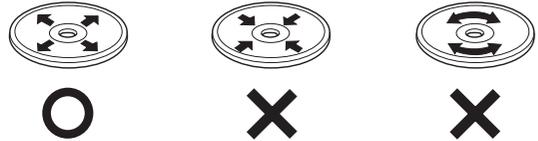
次のような所に置かないでください。

- 直射日光が長時間あたる所(特に密閉した自動車内など)
- 暖房器具の近く
- ほこりや湿気の多い所

### お手入れのしかた

指紋やほこりなど汚れがつくと、雑音や音とびの原因になります。汚れがついたときは、柔らかい布で、中央から縁の方向にまっすぐに軽くふきとってください。

矢印と反対の方向にふいたり、普通のレコードのようにまわしながらふかないでください。次のものは使用しないでください。



- ベンジンやアルコールなどの溶剤
- 研磨材を含むクリーナー
- レコード用のスプレーやクリーナー
- 静電気防止剤

### 結露について

つぎのような場合には、内部のレンズやCDに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。

- ストーブをつけた直後。
- 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
- 冷えた場所(部屋)から急に暖かい部屋に移動したとき。

露がついてしまうと

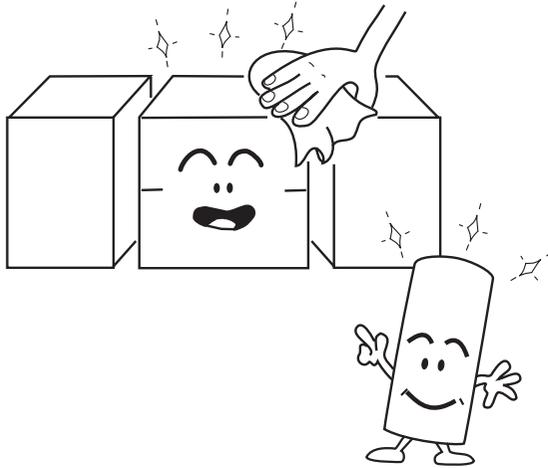
CDの信号が読み取れず、本機が正常な動作をしないことがあります。

露を取るには

CDを取り出して電源を入れておけば、約1時間位で露が取り除かれ、正常な動作をするようになります。

# お手入れするには

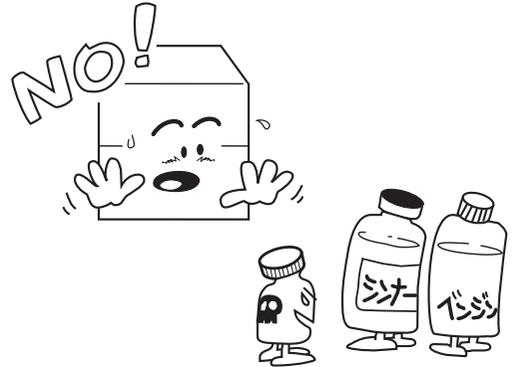
ふつうの汚れは、やわらかい布で軽くふきとってください。  
汚れがひどいときは水でうすめた洗剤を布にふくませ、よくしぼってふき取ってください。そのあと、乾いた布で仕上げてください。



お手入れの際は、電源コードをコンセントからはずしてください。

## ご注意

ベンジン、シンナーなどでふいたりすると変質したり、塗料がはげることがありますので使わないでください。



# 音楽著作権について

放送やレコード、ディスク、テープなどの音楽作品は、著作権法によって保護されています。したがって、次のような場合には権利者の許諾が必要です。

1. 放送やレコード、ディスク、テープなどから録音したテープを売る、配る、譲る、貸すときなど。
2. 営利(店のBGMなど)のために、レコード、ディスク、テープなどを演奏するとき。

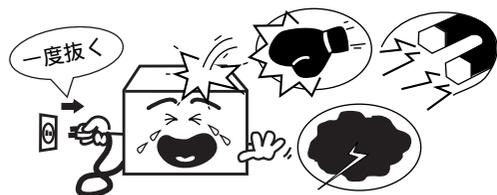
## 日本著作権協会

本部	(03) 3502-6551	北陸支部	(0762) 21-3602
北海道支部	(011) 221-5088	京都支部	(075) 251-0134
盛岡支部	(0196) 52-3201	大阪支部	(06) 244-0351
仙台支部	(022) 264-2266	神戸支部	(078) 322-0561
大宮支部	(048) 643-5461	中国支部	(082) 249-6362
東京支部	(03) 3562-4455	四国支部	(0878) 21-9191
西東京支部	(03) 3232-8301	九州支部	(092) 441-2285
横浜支部	(045) 662-6551	鹿児島支部	(0992) 24-6211
静岡支部	(054) 254-2621	那覇出張所	(098) 863-1228
中部支部	(052) 586-1155		

詳しい内容や申請、その他の手続きについては「音楽著作権協会」の本部または最寄りの各支部へお問い合わせください。

# 故障かな？と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理やアフターサービスをお申し付けになる前にあらかじめお調べください。



この製品を使用中に、強い外来ノイズ（衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けた場合や誤った操作をした場合などに、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。

このようなときは、いったん電源差し込みプラグを抜き、約30秒後に再びつないで操作をやり直してみてください。

こんなとき

ここをおたしかめください

参照ページ

スピーカーから音が出ない。	ヘッドホンが差し込まれていませんか？ INPUTつまみで正しいファンクションが選ばれていますか？ スピーカーコードがスピーカー端子からはずれていませんか？	22 — 7
低音が出ない。 音源の位置が不明りょう。	スピーカーの左右どちらかの極性（+、-）が反対になっていませんか？	7
“ブーン”という雑音が入る。	電源コードを伝わってくる電波が電源周波数によって変調をうけると雑音が入ることがあります。 電源差し込みプラグの左右を逆に差しかえてみてください。	—
時計の表示が点滅している。	時刻合わせをしましたか？ 停電がありませんでしたか？ 時刻を設定しなおしてください。	19

次のページへつづく

## 故障かな？と思ったら

### CDを聞くととき

操作ボタンを押しても動作をしない。 また、曲の途中で止まってしまい正しい演奏をしなくなる。 演奏音がとぎれる。	CDの裏表をまちがえていませんか？ ディスクトレイの中に異物が入っていませんか？ CDに汚れやキズがありませんか？ 規格外のCDを使用していませんか？ 振動の多い不安定な場所においていませんか？ 本機内部に水滴がついているかもしれません。	29 — 47 47 — 47
"No Disc"が表示される。 ディスクトレイが出てきてしまう。	CDにゴミやキズがついていたり、裏表を逆に入れていませんか？	29
ボタンを押しているうちに、正常な動作をしなくなった。	演奏位置をさがす動作がボタン操作と対応しなくなることがあります。 一度、電源を切り、再び操作をやり直してください。	—

### ラジオ放送を聞くととき

FM放送に“ザー”という連続音が入る。	アンテナの位置が悪くありませんか？	8
AM放送を聞いているときに、“シー”“ザー”という連続音が入る。	テレビなどからの雑音が入る、または、放送局間の干渉音が入ることがあります。 テレビを消すか、テレビから離してください。	—

### リモコンを使うとき

正しい動作をしない。	乾電池が消耗していませんか？ 受信部に正しく向けていますか？ 受信部との距離が遠すぎませんか？ または近すぎませんか？ 受信部に強い日光や照明(インバーター蛍光灯など)があたっていませんか？ 他の機器のリモコンを同時に操作していませんか？ 乾電池の(+)(-)が逆になっていませんか？	18
------------	--	----

### タイマーを使うとき

タイマーがスタートしない。	時刻合わせをしましたか？ TIMERインジケーターが点灯していますか？	19 42
---------------	--	----------

### 本機をテレビの近くに置いているとき

“キーン”や“ブーン”という雑音が入る。 または、雑音が録音される。	使用するテレビによっては、テレビから雑音が入ることがあります。テレビと本機の位置を左右入れかえるか、雑音がなくなるまで離してください。または、テレビを消してください。	—
他のチューナやテレビに雑音や映像の乱れが生じる。	室内アンテナを使用しているチューナやテレビを近くに置いていませんか。特に、室内アンテナを使用しているチューナやテレビに起こりやすいので、屋外アンテナの使用をおすすめします。	—

# 仕様

## レシーバ RX-E100

### アンプ部

定格出力	40W+40W (20Hz~20kHz, 0.1%THD, 6 )
実用最大出力	60W+60W (EIAJ, 1kHz, 10%THD, 6 )
ダイナミックパワー	8 50W+50W 6 65W+65W 4 75W+75W 2 80W+80W
パワーバンド幅	10Hz~50kHz (0.1%THD, 30W/6 )
ダンピングファクタ	60 (20Hz~20kHz, 6 )
入力感度/ 入力インピーダンス (CD/MD/テープ/AUX)	150mV/47k
最大許容入力 (CD他)	3.0V (1kHz, 0.5%THD)
出力電圧/出力インピーダンス REC OUT (MD, テープ) SUB WOOFER (50Hz)	150mV/1.2k 2V/730
ヘッドホン出力/ 出力インピーダンス	0.43V/330 (CD他, 入力1kHz, 150mV, 6 )
周波数特性	0±0.5dB (20Hz~20kHz)
全高調波歪率	0.04% (20Hz~20kHz, 20W/6 )
信号対雑音比	93dB (150mV入力ショート)
残留ノイズ	100µV
チャンネルセパレーション (VOL. -30dB)	60/45dB (5.1k 入力ショート, 1kHz/10kHz)
トーンコントロール特性	
Bass 可変幅	±10dB, 50Hz
ターンオーバー周波数	350Hz
Treble 可変幅	±10dB, 20kHz
ターンオーバー周波数	3.5kHz
フィルタ特性 (SUBWOOFER L.P.F.)	fc=100Hz, 6dB/oct.

### チューナー部

<FM> 受信周波数範囲	76.0MHz~108.0MHz/ 50kHz step
実用感度 (MONO)	1.5µV (S/N 30dB)
実効選択度	75dB (±400kHz)
S/N比	MONO 77dB STEREO 71dB

歪率(1kHz)	MONO 0.5% STEREO 1.0%
ステレオセパレーション	40dB (1kHz)
周波数特性	0±1.5dB (20Hz~15kHz)
出力レベル	500mV (100% MOD. 1kHz)
アンテナ入力	75 unbalanced
<AM> 受信周波数範囲	531kHz~1611kHz/ 9kHz step
実用感度	300µV/m
S/N比	50dB
出力レベル	150mV (30% MOD. 1kHz)
アンテナ	ループアンテナ

### 電源・その他

電源電圧	AC 100V 50/60Hz
消費電力	86W
寸法	217×108×312mm (幅×高さ×奥行)
重量	4.5kg

## CDプレーヤ CDX-E100

### CD部

方式	スライドローディング・ トレイ式・シングルCD
D/Aコンバーター	S-bit DAC
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
S/N比	102dB(EIAJ)
ダイナミックレンジ	95dB
高調波歪率(1kHz)	0.004%
周波数特性	2Hz~20kHz ±0.5dB
ワウ・フラッター	測定限界値以下
出力レベル(1kHz 0dB)	2±0.5Vrms

### 電源・その他

電源電圧	AC 100V 50/60Hz
消費電力	10W
寸法	217×108×290mm (幅×高さ×奥行)
重量	3.0kg

仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

本機は、電気用品取締法に定める技術基準に適合しています。

# ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。  
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

## 保証期間

お買上げ日より1年間です。

## 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

## 保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

## 修理料金の仕組み

- 技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。  
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- 部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

## 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年(テープデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

## 製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

品番、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

## 摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

## 摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

ヤマハAV製品に対するお問合せ窓口  
AVお客様ご相談センター  
TEL (03) 5488 - 5500

## ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お持ち込み窓口)

北海道	〒064-8543	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL (011) 512 - 6108
仙台	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL (022) 236 - 0249
首都圏	〒211-0025	川崎市中原区木月1184 TEL (044) 434 - 3100
浜松	〒435-0048	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL (053) 465 - 6711
名古屋	〒454-0058	名古屋市中区川玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F TEL (052) 652 - 2230
大阪	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)汗里丘センター内 TEL (06) 6877 - 5262
広島	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14 TEL (082) 874 - 3787
四国	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 ヤマハミュージック神戸高松店内 TEL (087) 822 - 3045
九州	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472 - 2134

## 愛情点検



## 永年ご使用の本機の点検を！

### こんな症状はありませんか？

電源コード・プラグが異常に熱い。  
コゲくさい臭いがする。  
電源コードに深いキズが変形がある。  
製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。  
電源を入れても正常に作動しない。  
その他の異常・故障がある。



### すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。  
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

## ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1  
AV機器事業部  
営業部 TEL (053) 460 - 3451  
品質保証室 TEL (053) 460 - 3405  
住所および電話番号は変更になることがあります。

